



協測県

HIROSHIMA

2019年度

新年のご挨拶

一般社団法人 広島県測量設計業協会 会長	森 脇 克 彦	1
一般社団法人 広島県測量設計業協会 顧問	平 口 洋	3
一般社団法人 広島県測量設計業協会 顧問	狭戸尾 浩	4
国土交通省中国地方整備局 企画部長	八 尋 裕	5
国土交通省国土地理院 中国地方測量部長	中 島 最 郎	6
広島県土木建築局長	齋 藤 博 之	7

叙勲受章	8
------	-------	---

特別寄稿	9
------	-------	---

「学校へ行こう」プロジェクト

国土交通省国土地理院 中国地方測量部次長 富 田 浩 之

今後の道路施策への思い

広島県土木建築局 道路企画課長 長 田 和 久

経営者懇談会 講演録	15
------------	-------	----

「自利利他」～仏教から学ぶ経営のヒント～

専法寺 副住職 梵 大 英

合格奮闘記・体験記	28
-----------	-------	----

測量士合格体験記 (株)安芸建設コンサルタント 西 原 郁 志

測量士合格体験記 (株)陸地コンサルタント 円城寺 裕 次

測量士合格体験記 (株)陸地コンサルタント 小 田 光 治

RCCM合格体験記 (株)広測コンサルタント 越 水 一 紀

社長・スタッフ投稿記事	32
-------------	-------	----

「趣味の時間」

(株)イズタコンサルタント 代表取締役 泉 田 義 博

「ボウリング大会」

(株)陸地コンサルタント

藤原 亘

渡辺 光美

桐吉 幸治

伊藤 英幸

青年部会コラム	36
---------	-------	----

「青年部会の発足と活動について」

(株)荒谷建設コンサルタント 代表取締役社長 荒谷 悦嗣

協会活動状況（平成31年1月～令和元年12月）	39
-------------------------	-------	----

総会・理事会

委員会

会社紹介	55
------	-------	----

相生エンジニアリング(株)

発注機関との意見交換会 概要	56
----------------	-------	----

県（本庁・事務所）

国（5事務所）

参考資料	58
------	-------	----

全測連中国地区協議会災害時における相互応援に関する協定

会員名簿	60
------	-------	----

会員名簿

賛助会員名簿

事務局だより	62
--------	-------	----

編集後記	63
------	-------	----



年頭あいさつ

(一社) 広島県測量設計業協会 会長 森 脇 克 彦

新年、明けましておめでとうございます。協会員並びに関係機関の皆様には、当協会の活動につきまして、平素から格別の御理解を賜り厚くお礼申し上げます。

広島県内の多くの地域では、未だに平成 30 年 7 月西日本豪雨災害からの復旧・復興途上の状況にありますが、昨年は、台風 19 号等の記録的な豪雨による大規模災害が東日本の各地で発生し、河川の氾濫や堤防決壊等により広域かつ甚大な被害をもたらしました。近年は、毎年のように豪雨災害等の自然災害が頻繁に発生しており、想定を超える事態が常に起こる可能性を改めて認識いたしました。今年こそは、穏やかな一年でありますようお願いしております。

こうした災害の発生に対しまして、いち早く現地に駆けつけて迅速に対処することは、建設関連業に携わる者の使命であります。従前の公共事業の大幅な縮減による技術者の流出や昨今の人手不足により災害等への危機対応力は著しく低下しており、担い手の確保は協会にとりまして最重要課題となっております。次世代の担い手確保・育成が急務となる中、協会員企業の 50 歳以下の経営者や後継者等の呼び掛けで、昨年 5 月に「青年部会」が設立されました。

青年部会においては、広島県や広島建設青年交流会等と連携を図りながら、体験イベント「ひろしま建設フェア」への出展による子供たちへの魅力発信、県内の大学・専門校・高校等の土木系学生へ向けた説明会（測量設計業界の説明や若手技術者との意見交換）、女子学生と女性技術者との意見交換・交流会、建設企業ガイダンス（企業等合同説明会）、更には、業界PRのパフレット（建設関連業が担う役割や社会貢献、協会活動、社員の声等を分かり易くビジュアルで紹介するためのパフレット）の作成など、若い世代の感性と機動力を活かして積極的に取り組んでいただいています。こうした地道で息の長い活動は、協会員企業の人材確保に貢献するものと大いに期待しています。

一方で、働き方改革関連法では、建設サービス業に分類される協会員は、平成 31 年 4 月 1 日（中小企業は令和 2 年 4 月 1 日）から、時間外労働の罰則付き上限規制及び毎年最

低でも5日以上の有給休暇を与える罰則付き義務が適用され、業界を取り巻く環境や業務実態を踏まえると大変厳しく喫緊の課題として捉えています。協会員の皆様には、魅力ある業界にしていくためにも、法令順守に向けて適切で着実な環境整備に是非とも取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

令和元年度補正予算案の国土強靱化関係施策予算の総額は、国費ベースで1.15兆円（うち公共事業関係費は0.83兆円）が見込まれ、更に、令和2年度当初予算案の公共事業関係費の総額は6.86兆円（国交省所管は5.94兆円）と6兆円超が見込まれており、一定の事業量が確保されるものと期待しております。協会といたしましては、引き続き、多くの諸課題に取り組んで参りますので、今後も皆様方の一層の御指導と御支援を賜りますようお願いいたします。

皆様にとりまして、今年一年が実り多き健やかな年となりますよう心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

(一社) 広島県測量設計業協会

顧問 衆議院議員 平 口 洋

新年おめでとうございます。

一般社団法人広島県測量設計業協会の皆様には、お元気で令和2年の初春をお迎えになられたことと心よりお慶び申し上げます。昨年は大変お世話になりました。4月に行われた統一地方選挙では、広島市長、広島県議、広島市議と我々の同志を多数当選させていただきました。また、7月に行われた参議院議員選挙では、全国比例区、広島地方区ともに多数の得票をさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

また、昨年は天皇陛下が御代替わりされ、4月から5月にかけて退位即位の儀式が行われました。元号が「平成」から「令和」に変わりました。そして、10月22日の即位礼正殿の儀をもって、即位が国の内外に知らしめられたのです。

そして今年は子（ね）の年です。ねずみのように元気で機動力のある年であることをお祈りしています。

皆様は土地の調査と土木建築物の設計を通して、国土の強靱化と国民経済の発展に大きく寄与しておられ、深く敬意を表します。

昨年も災害の多い年でした。台風15号、19号、21号と続けて豪雨をもたらしました。千葉県の停電は長期に及びましたし、長野の千曲川、宮城の阿武隈川の破堤は広範な被害をもたらしました。被害に遭われた方々に対し、心よりお見舞いを申し上げます。二十数兆円に上る補正予算を早急に成立させなければなりません。広島県は、被害こそ少なかったものの、おととしの災害の本格復旧が手についたばかりでしたので、大きな痛手を受けたといっても過言ではありません。入札不調などが多発しなければよいがと心配をしております。

こうした中、測量設計業の皆さまには、その持てる力を十分に発揮し、地域の復旧・復興の原動力となっていることに対し深く感謝申し上げます。お陰様で砂防工事、築堤工事・道路工事など順調に進んでおります。今後は発生が懸念される南海トラフ巨大地震や国土強靱化基本計画などを視野に入れ、十分な役割を果たしていただきたいと思います。

今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが始まります。ラグビーのワールドカップの時のように日本勢が活躍することが期待されます。

社会のあらゆる要望に対応できる体制づくりを心がけ、国民生活の安心・安全に寄与することが測量設計業協会の役割です。今後も、国土強靱化基本法のもとで、地域の特性に応じた具体策を実行して行って下さい。

貴協会のますますのご発展と会員企業のご繁栄を祈念し、年頭の挨拶と致します。



新年のごあいさつ

(一社) 広島県測量設計業協会

顧問 広島県議会議員 狭戸尾 浩

広島県測量設計業協会の会員並びに賛助会員の皆さま、新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

全国各地の自然災害で、多くの被災された方々に衷心よりお見舞いを申し上げます。広島県では、一昨年の「西日本豪雨災害」の復旧工事に努めておりますが、いまだ不自由な生活をされておられる方がおられます。1日も早い復旧・復興に向けて一丸となって頑張っております。

広島県測量設計業協会の皆さまには、復旧工事にかかる調査設計に特段のご協力を頂いており、感謝するとともに心より御礼を申し上げます。

昨年は、嬉しいこともありました。5月1日には、新天皇陛下がご即位され、元号が平成から令和へと変わり新しい時代が始まりました。

また、11月24日には、ローマ教皇が38年ぶりに広島にお越しになられて、広島平和公園より世界に向けて、核兵器廃絶について力強いメッセージを発信して頂き、広島県民にとりまして大変な喜びと大きな力を頂きました。

今年は、スポーツの祭典「2020 東京オリンピック・パラリンピック」が開催されます。私は、高校生の時代に見た前回の「東京オリンピック」の感動はいまだ忘れることが出来ません。

今回の「東京オリンピック・パラリンピック」が未来を担う子供たちに、夢と希望を与えてくれる素晴らしい大会になることを願っております。

また、広島県では、将来の目指す姿「広島未来チャレンジビジョン」の最終年にあたります。ビジョンの精査を行うとともに、次に向けての「新総合計画」の作成に取り掛かる重要な年であります。

皆さまには、引き続き、ご協力とご支援を頂きますようお願いを申し上げます。

広島県測量設計業協会の益々のご発展と皆さまのご健勝・ご多幸さらなるご活躍を心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年のごあいさつ

国土交通省 中国地方整備局 企画部長 八尋 裕

新年、明けましておめでとうございます。年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。一般社団法人広島県測量設計業協会の皆様方におかれましては平素から国土交通省行政に対しまして、格段のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年と同様に昨年も災害が多い年であり、特に10月の台風19号の襲来により東日本を中心に広い範囲で甚大な被害を受けたところです。

このような災害に対し中国地方整備局では、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）を派遣し、被災状況の調査や災害対策用機械による排水・清掃作業などの対応にあたりました。近年、自然災害が頻発化・激甚化する中、被災地への迅速かつきめ細やかな支援に対するニーズや期待は一層高まっています。また、社会資本の老朽化対策についても、適時適切に実施していくことが必要です。

一方、我が国では少子高齢化や人口減少による生産年齢人口の減少が著しく、建設業界においても「担い手確保」と「生産性向上」が重要な課題となっています。これらの課題への対応を図るため、昨年6月には働き方改革の推進、生産性向上への取り組み、災害時の緊急対応強化を柱とした担い手三法が改正され、公共工事に関する調査・設計等についても広く本法律の対象として明確に位置付けられました。このようななか、中国地方整備局では、「生産性向上」と「働き方改革」について11の取組を重点的に進めています。また、設計業務等の品質確保対策として、履行期限の平準化、Web会議等の活用、ウィークリースタンスの推進等、魅力ある職場環境整備に取り組んでいます。

このような取組を着実に推進するために測量設計業に携わる皆さまの果たすべき役割は非常に重要であり、貴協会では、i-Constructionセミナーや3次元計測・活用技術講習会を、また、若手職員による県内大学や高等学校の土木系学科の学生を対象とした説明会を積極的に開催されています。また、大規模災害時の広域的な応援体制として「相互応援に関する協定書」を中国地区の各測量設計業協会と締結されています。今後とも測量設計業に携わる皆さまには、中国地方整備局所管事業の円滑な推進のために欠くことのできない大切なパートナーとして、より一層のご尽力を賜りますことを心からお願いいたします。

結びに、新しい年が皆さまにとって希望に満ちた年となりますことを祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

国土交通省 国土地理院 中国地方測量部長 中島 最 郎

新年明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

一般社団法人広島県測量設計業協会におかれましては、日頃より地域社会に根ざした真摯な活動を推進され、また広島県内の測量設計業の健全な発展のために多大な貢献をされていることに、心から敬意を表したいと存じます。また、会員の皆様におかれましては、国土地理院の業務に格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

国土交通省の施策として i-Construction が動き出して4年がたち、広く知られるようになりました。この施策は労働者の減少や熟練技術者の高齢化など建設業の様々な課題について、「ICT 技術の活用」、「部材規格の標準化」、「施工時期の平準化」の三つの取り組みを中心に、建設現場の環境を改善する取り組みとして進めています。

特に、「ICT 技術の活用」のベースとなる測量設計は、重要な役割を担っています。

ICT 土工では、調査設計・測量工程で3次元データを取得することで、3次元CADによる設計・施工計画→自動制御による施工→3次元測量を利用した検査→施設管理者の維持管理→そして施設更新時に調査設計・測量工程から引き継がれた3次元データを利用し、施設更新用の設計を行うことで効率化を図る施策となっています。

今後の測量は、点群データの活用が進み、面として情報を収集し、図面も2次元から3次元へと進み、より高精度化されていくことと思います。

また、我が国における自然災害は激甚化しており、広島県を始め多くの被害をもたらした平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震、昨年の台風19号等の自然災害が日本各地で起こっています。このような災害において、地域に根差した測量設計業界は復旧・復興はもとより防災や災害時にも非常に大きな役割を担っていますので、引き続きご協力をお願い致します。

昨年は近代測量150年として先人の遺した成果を様々な企画で公開しました。この150年間は先輩たちが常に最新技術を取りこむことで測量技術の向上を図ってきたと考えています。現場に応じて古い技術も使いつつ、新しい技術も取り込むことで測量設計業界が発展して行くと感じています。

国土地理院も新技術の検証や公共作業規程の作成を始め、国民の防災力の向上や地理空間情報高度活用社会の実現に向け、「国土を測り」「国土を描き」「国土を守る」活動を国民に広く知って頂くために様々な活動を通して貢献していきます。

最後に自然豊かな広島県民のみなさんが安全・安心に暮らしていくためにも、貴協会と会員の皆様の更なるご活躍・ご発展を心から祈念しまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

広島県土木建築局長 齋藤博之

新年、あけましておめでとうございます。

令和最初の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人広島県測量設計業協会並びに会員の皆様には、平素から広島県の土木建築行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、台風19号により東日本を中心に大きな被害が発生する一方で、新しい天皇陛下のご即位やラグビーワールドカップでの日本チームの大活躍等、明るい話題も数多くありました。そのような中、本県では、甚大な被害をもたらした「平成30年7月豪雨災害」からの一日も早い復旧・復興を目指し、公共土木施設の復旧や災害防止対策に最優先に取り組んでおります。その際には、再度災害防止の観点から、単に原形復旧するのではなく今回の被災要因を踏まえた工法を選定し、施設を強靱化する質的な改良復旧を行っているところです。また、ハード整備だけではなく、住民の早期避難判断につながる的確な情報提供といった、ソフト面での対策についても充実を図るよう努めているところです。

併せて、災害関連工事を大規模に展開していく中で、昨年増加した工事入札の不調・不発対策として、技術者の兼務制限の緩和や地域要件の拡大等に加えて、昨年9月から復興係数・復興歩掛を導入したところです。

また、災害関連工事以外の社会資本整備についても、国の「防災・減災・国土強靱化のための3か年緊急対策」も積極的に活用し、地域の状況を踏まえて事業を実施しているところです。

それ以外にも、昨年は、土砂災害防止法に基づく基礎調査の完了や手城川水系における「100mm/h 安心プラン」への登録など、安心な暮らしづくりに資する取組を進めるとともに、福山港ふ頭再編改良事業の着工、一般国道185号休山新道4車線化の完成や広島市東部地区連続立体交差事業の見直しに伴う都市計画変更等、新たな経済成長に資する社会資本の整備に向けて、着実に取り組んだところです。

さらに、貴協会の皆様にもご協力いただき、学生向け説明会や「ひろしま建設フェア2019」を開催するなど、県内建設業界の担い手確保・育成への取組を強化しているところでございます。

引き続き、「ひろしま未来チャレンジビジョン」が目指す県土の将来像の実現に向けて、「社会資本未来プラン」に基づく取組を計画的に推進してまいります。

皆様におかれましては、災害復旧や社会資本整備に不可欠な測量・調査・設計業務という役割を担っていただいているところであり、引き続き本県の土木建築行政の施策推進に、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、新年の門出にあたり、貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



叙勲「旭日双光章」受章

(一社)広島県測量設計業協会 荒谷 壽一 相談役 (株)荒谷建設コンサルタント代表取締役会長)におかれましては、多年にわたり国土交通関係業務に精励された御功績に対し、令和元年秋の叙勲において「旭日双光章」を受章されました。



[勲章伝達式]

令和元年12月11日、東京プリンスホテル(鳳凰の間)において、荒谷壽一相談役は旭日双光章を授与されました。

主な経歴

(一社)全国測量設計業協会連合会 [旧(社)全国測量設計業協会連合会]

常任理事 平成10年5月25日～平成16年5月30日

副会長 平成16年5月31日～平成22年5月30日

常任理事 平成22年5月31日～平成24年5月30日

理事 平成24年5月31日～平成30年5月24日

(一社)広島県測量設計業協会 [旧(社)広島県測量設計業協会]

理事 昭和52年12月19日～平成6年5月30日

副会長 平成6年5月31日～平成10年5月30日

会長 平成10年5月31日～平成30年4月27日

相談役 平成30年5月8日～





電子基準点の設置校を対象とした出前授業 ～国土地理院の「学校へ行こう」プロジェクトのご紹介～

国土交通省 国土地理院 中国地方測量部 次長 富田 浩之

1. はじめに

国土地理院では、平成27年度から、電子基準点^{※1}が設置されている学校を対象に、電子基準点の役割や測量の大切さ、国土地理院の役割などを知っていただき、地図や地理、測量に興味を持っていただくことを目的とする出前授業に取り組んでいます。この取組を通称で「学校へ行こう」と呼んでいます。(以下、この取組を「学校へ行こう」と記述します。)

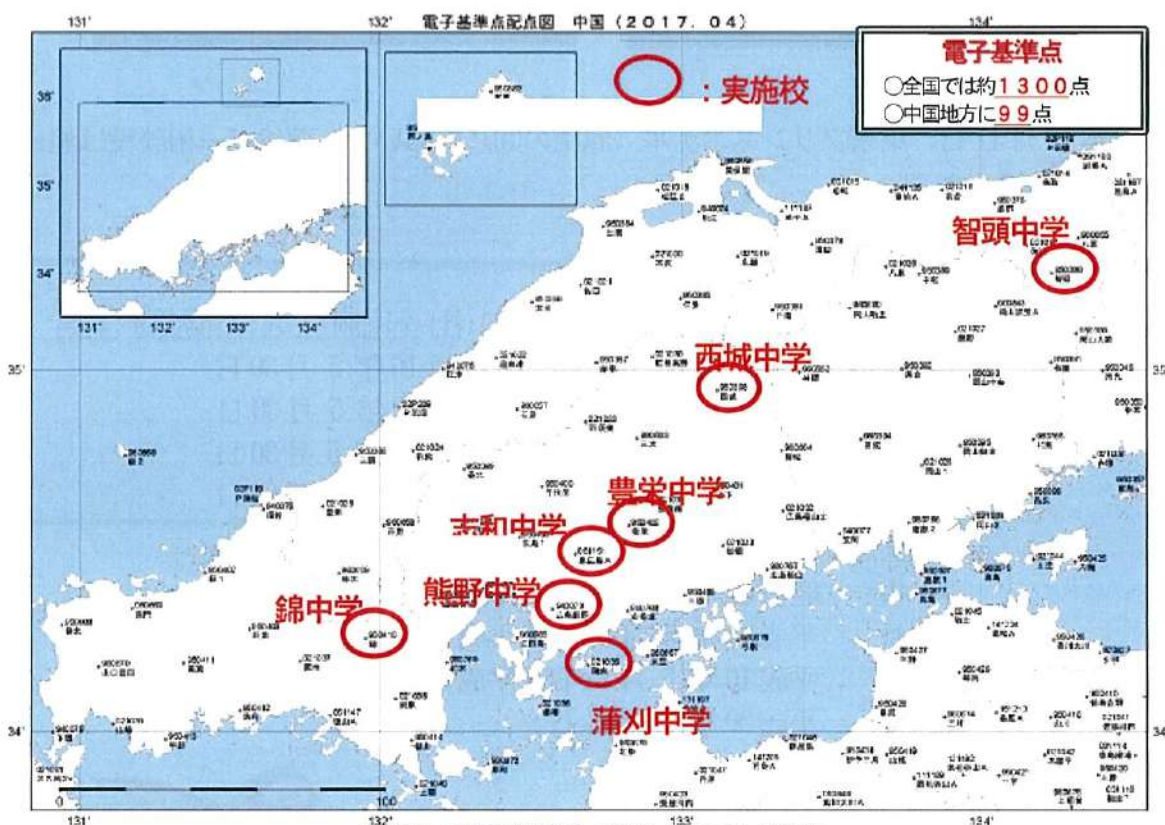
電子基準点は、全国に約1,300点、中国地方では99点あり、その約半数が学校の敷地内にあります。本稿では、中国地方測量部の「学校へ行こう」の取組を紹介します。



電子基準点

2. 実施校

国土地理院から電子基準点が設置されている学校に案内をお送りして、実施希望があった学校から優先的に実施しています。昨年度までに広島県熊野町立熊野中学、鳥取県智頭町立智頭中学、広島県東広島市立志和中学で実施しました。今年度は山口県岩国市立錦中学校、広島県庄原市立西城中学校、同東広島市立豊栄中学校で既に実施し、同呉市立蒲刈中学校で2月に実施する予定です。



中国地方の電子基準点と「学校へ行こう」実施校

3. 授業内容

授業内容は、「地理院地図^{※2}の実習」(1校時)と「地図や電子基準点などについての講義」(1校時)の2本

柱で構成されています。

(1) 地理院地図の実習

各学校と最寄り駅との距離の計測や校内の面積計測、断面図の表示、地形の3次元表示、空中写真、主題図等と重ね合わせ、色別標高図の表示、自分で作る色別標高図の表示、2画面表示・比較などを行いました。生徒のみならず先生方も地理院地図の機能に驚きを示す場面が多く見られ、地理院地図の利便性を感じた様子でした。他の場所の計測や表示も進めるなど意欲的に取り組む姿が見られました。



校内の面積計測 (例)



2画面表示・比較 (例)

(2) 地図や電子基準点などについての講義

講義については、校内にある身近な電子基準点の説明からはじめ、「電子基準点の役割」、「地図の役割」、さらには「地図ができるまで (国土地理院の仕事)」へと発展的に説明を進め、最後に地図の応用として「地図やハザードマップから分かること」について説明しました。講義の項目は次の通りです。

① 電子基準点の役割

- ・基準点とは? ・基準点の役割 ・電子基準点を構成する機器
- ・電子基準点はどこにある ・ポケモン、カーナビと測量の違い
- ・電子基準点の連続観測システム (GEONET)
- ・電子基準点で分かったこと 等

② 地図の役割

- ・地図の作成、地図の種類
- ・新旧地形図から学校付近の変遷を見る
- ・地理院地図や主題図の有効性 (説明・デモ) 等

③ 地図ができるまで (国土地理院の仕事)

- ・国土の位置を正確に求める ・国土の地図を作る
- ・災害への対応 ・国土を伝える

④ 地図やハザードマップなどから分かること

- ・付近の地形の特徴 ・ハザードマップから分かること
- ・西日本豪雨災害について ・地図から見る地域の変遷 等



実習、講義の様子 (例)



地理院地図で3次元表示 (例)

4. 授業で感じたこと

「学校へ行こう」を実施した全ての学校で「地理院地図」への関心が最も高く、簡単な操作で様々なことができることに驚きを示すとともに、実習に取り組む姿勢が自主的かつ意欲的であることから、「地理院地図の実習」は地図を学ぶ上で効果的な実習であると感じました。地図などから身近な地域の様々なことが読み取れることを示したことで、地図への興味を高めることができたと思われます。次いで、電子基準点への関心が高く、電子基準点や測量の重要性について理解していただいたと確信しています。

また、アンケートでも、「地図はあまり興味がなかったが、地理院地図はとても便利、家族にも伝えて自分でも使って見たいと思った。」「地図帳が地理院地図だったら面白いと思った。」「地図のおもしろさが分かって何にでも役に立つと思った。」「地理について興味がわいた。」「家族でハザードマップを見ておきたい。」「電子基準点はとても重要だと分かった。」「測量は全ての基礎であることが分かった。」「国土地理院のサイトで様々な環境を知ることができると分かった。」など、高い評価をいただきました。先生方からも、「地理院地図は様々な教科に活用できると思う。」「部活動でもランニング経路の高低変化の把握に使える。」「電子基準点の重要性が分かった。」など、地理院地図の有用性や電子基準点の重要性についての感想をいただきました。

5. 今後の予定

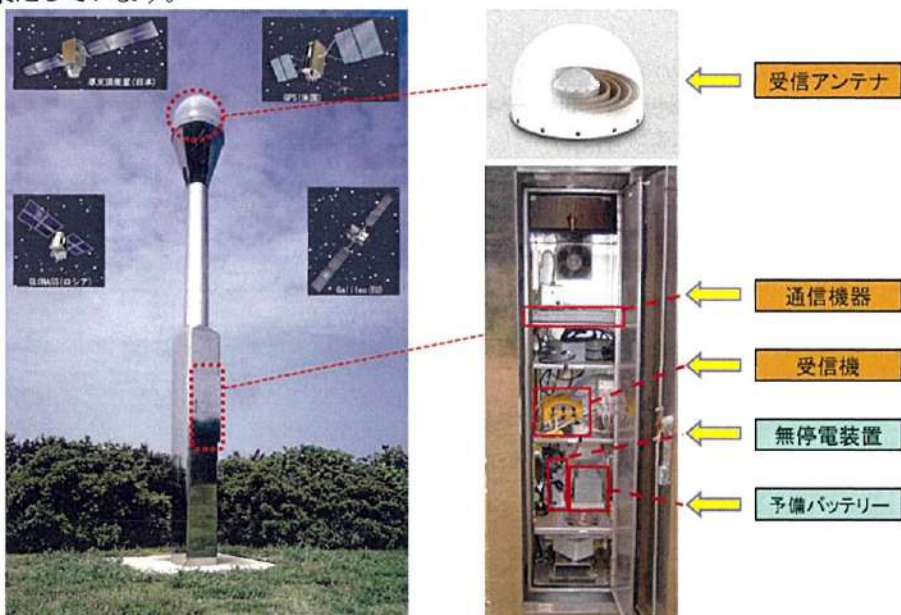
「学校へ行こう」は、将来の測量・地図分野を担う人材育成の側面も併せ持ち、今後とも継続的に実施していく予定です。国土交通省が推進する i-Construction においても、担い手不足の問題から人材育成を推進しており、「学校へ行こう」の趣旨とも整合しています。また、国土交通省は省全体で防災に取り組んでいます。防災の基本は地域を知ることであり、まず地図を見て考えることを推進していく必要があります。このようなことから、測量設計業界の皆様方とも連携して地理・地図、測量教育を進めていきたいと考えています。是非一緒に取り組んで行きましょう。

(参考)

※1 電子基準点とは

電子基準点は、全国約 1,300 ヶ所に設置された「GPS」や「みちびき」などの測位衛星からの電波を受信する観測点で、測量のための国家基準点です。高さは 5m あり、上部に測位衛星からの電波を受信するアンテナ、内部に受信機と通信用機器等が格納されています。

電子基準点で観測したデータは、様々な測量などで位置の基準として広く利用されています。このほか、地殻変動の監視でも活用され、平時の監視はもとより、大地震時の地面の動きを短時間で知ることができるなど重要な役割を果たしています。



電子基準点の構造

※2 地理院地図とは

地理院地図は、国土地理院のホームページで公開しているウェブ地図で、地形図、航空写真、標高、地形分類、災害情報など、日本の国土の様子を発信しています。最新の道路や鉄道などの情報から、昔の航空写真なども見ることができ、戦前から現在に至るまで国土の変遷を見ることができます。このように、国土地理院が整備する様々な地理空間情報をご覧いただけるほか、どこでも標高を知ることができ、地形図や写真などを3D表示にしてご覧いただくことも可能です。各種業務から個人的なことにまで広く便利に使うことができますので、一度ご活用してみてください。

(地理院地図HP : <https://maps.gsi.go.jp/>)

「地理院地図」で出来ること

(1) 最新の道路や鉄道が載っている!

【ここがポイント!】
主要な道路や鉄道は、供用開始日に地図に反映しています。

施設整備・管理者からの情報
地図に反映

(2) 地形や災害リスクがわかる地図・写真が見られる!

【ここがポイント!】
地図の基本となる地形図や写真の他、地形や災害リスクなどの土地の特徴を示した地図、災害時に取得した写真など、2,000以上の情報を収録しています。

①「情報」をクリック
② パネルから選択

(3) 昔の写真が見られる!

【ここがポイント!】
戦前～高度経済成長期の土地の変遷も見ることができます。

①「情報」をクリック
② パネルの「空中写真・衛星画像」から各年代の写真を選択
③ 機能>④ズーム>⑤高度表示で左右に並べて表示可能

東京ディズニーリゾート付近
左：最新（2007年～） 右：1979年～1983年

(4) どこでも標高がわかる!

【ここがポイント!】
洪水・津波等の災害対策に役立ちます。

地形断面図作成機能
①「機能」をクリック
②「断面図」をクリック
③地図上でクリックして経路を指定し、端点で2回クリック

標高：29.0m
地図画面中央の標高値が画面下部に表示されます

(5) 3Dでも見られる!

【ここがポイント!】
全ての情報を3Dにして見ることができます。

①「機能」をクリック
②「3D」または「Globe」をクリック

3D 指定した範囲のモデルをぐるぐる回せます

Globe 地形の高さにシームレスに発光します。高緯度の夜間点を見られます。

3Dアングラ毎秒90度のターンも可能です。



今後の道路施策への思い

広島県土木建築局道路企画課 課長 長田 和久

1 はじめに

(一社)広島県測量設計業協会の皆様方におかれましては、平素より、本県の道路行政の推進にあたり、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私が在籍する道路企画課では、本県の道路施策の指針となる道路整備計画の策定やフォローアップをはじめ、直轄事業の進捗状況の把握や広島高速道路等有料道路の運営管理のほか、自転車施策の推進や道の駅の機能向上など、関係機関と連携しながら、様々な業務に取り組んでいます。

このような中、本県の長期総合計画である「ひろしま未来チャレンジビジョン」や土木建築局の「社会資本未来プラン」が来年度に改訂時期となっており、社会資本未来プランの個別事業計画である道路整備計画2016も併せて改訂となることから、ここでは、今後の道路施策について述べさせていただきたいと思います。

2 これまでの取組

広島県では、昭和57年に最初の道路整備計画を策定し、これまで6回の改訂を経て、計画的に県内の道路整備を進めてきました。このことにより、改良率は昭和55年では約44%であったものが、約75%となり、高規格幹線道路の高速道路は全国11位の面積に比べて全国4位の390km、主要都市である広島市へ2時間圏域で到達できる圏域は、県内はもちろんのこと中国地方の面積の概ね半分をカバーするほどになりました。

これは、平成27年度の中国横断自動車道尾道松江線や東広島呉自動車道の全線開通により、山陽自動車道、中国縦貫自動車道等と相俟って井桁状の高速道路ネットワークが概成したことによるものです。また、これらを補完する地域高規格道路や広島高速道路の整備を併せて進めたことにより、企業の進出による雇用創出や県内総観光客数の増加など、全県域で様々な成果が現れており、これらの効果を県民の皆様にごできるだけわかりやすく示すため、平成17年度から平成27年度に供用した道路の整備効果として、年間630億円ほど県内総生産を押し上げていると公表しました。

こうした効果が得られているのも、これまで道路整備等に関係された諸先輩方のご尽力の賜物であり、深く敬意を表する次第です。

3 今後の道路施策について

「コンクリートから人へ」の言葉に象徴されるように、土木行政とりわけ道路行政に対して厳しい意見が数多く寄せられた時代がありました。昨今では、道路関係予算が多少持ち直しているものの、現在の国や県の財政状況を踏まえると、依然として厳しい状況が続いており、今後の道路施策を検討するにあたっては、メリハリを利かせた、更なる「選択と集中」を推し進めていく必要があると考えております。また、近年全国各地で多発している災害の激甚化や少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、国内における地域間競争の激化に加え、特に急速に進むAIやIoTといったICT技術の革新の活用は将来の道路施策を考える上では極めて重要であり、こうした新たな課題に対しても適切に対応すべきものと考えています。一方、中山間地域での急速に進む過疎化、都市部に集中する渋滞箇所、高度成長期時代等に建設した道路施設の老朽化、歩行者等に対する安全な空間確保など、従前からの課題についても、引き続き、その解決に向けて検討を進めていく必要があると考えております。

以上のような社会情勢等を踏まえると、今後の道路施策については、①生産性向上②災害リスクや老朽化等に対する道路施設のレジリエンス強化③コンパクト+ネットワーク④地域間連携の強化や持続可能な社会の構築⑤ICT技術の活用をキーワードとして検討する必要があるものと考えております。

高速道路をはじめとする道路は、県民にとってナショナルミニマムであることを認識し、豊かで快適・安全な社会が構築できるよう、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。

4 おわりに

昨年度まで呉支所に勤務いたしましたが、7月の西日本豪雨災害では、管内において同時多発的に土砂崩れが発生し、JR呉線のほか、広島県道路や東広島・呉自動車道、一般国道31号、185号、375号など主要幹線道路が寸断され、フェリーを除く交通機関が不通となったことにより呉市中心部がほぼ陸の孤島状態となり、人流・物流に多大な影響が出ました。一部の量販店が休業を余儀なくされ、コンビニやスーパーの商品棚に何も無い状態となるなど、市民の生活が脅かされました。その状況を目の当たりにしたとき、「道路」は、県民の日常生活から様々な社会経済活動を支える極めて重要な社会基盤であることを改めて痛感いたしました。協会の皆様には、発災以降、呉市域における災害調査等にご尽力いただき、誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。現在、呉市のみならず県内で復旧・復興に全力で取り組んでおりますので、協会の皆様方の引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

最後に、令和元年11月に本県が世界に誇る「しまなみ海道サイクリングロード」が、国によりナショナルサイクリングロードに指定されました。協会の皆様方におかれましては、是非、瀬戸内の多島美を眺めながらサイクリングを楽しんでいただければと思います。

令和元年度 経営者懇談会

日 時：令和元年12月4日（水） 16：40～17：45
 会 場：ひろしま国際ホテル 3階「パール・ルビー」
 講 師：専法寺 副住職 梵 大英 様
 演 題：「自利利他」 ～仏教から学ぶ経営のヒント～

皆様、こんにちは。本日は、お招きいただきましてありがとうございます。ご紹介にあずかりました、広島県三次市からやって参りました、浄土真宗という宗派のお寺「専法寺」と申しますが、そちらで副住職を務めております「梵 大英」と申します。素晴らしい経営者の皆様を前に、こういう講題を持ってきて良かったのかどうか分かりませんが、精一杯、務めさせていただきます。よろしく願いいたします。

今日は、三次の(株)タマルコンサルタントの田丸さんが、年齢的にいえば私の方が先輩になるんですけども、商工会議所に私も入らせていただいております、そちらでやっておる仲間として、ご縁をいただきまして呼んでいただきました。

「梵」という名前で、ぴんところれる方もいらっしゃるかと思いますが、私の身内に野球が非常に好きな男がおりまして、選手として一区切りをつけると、40歳を手前にして漸く言いましたんで、家族はやっとかと思っ、ほっとしとるんです。3年前ぐらいまで、お世話になっておりました「梵 英心」という選手は、私の弟になりまして4つ離れております。「英心さんに、よう似とってですね」とよう言われるんですが、あれが僕に似とる。

広島の方には、非常に可愛がっていただいて、いつの間にか居らんようになって、いつの間にか引退をしたというような流れになっておりますので、ちょっと心苦しいところが、若干、僕のなかにもあるんですけども、今では、彼のお陰で、スマートフォンや携帯電話で「そよぎ」と入れれば、「梵」の漢字がぼんと出てくるようになりました。昔は、「そよぎ」と入れたら「戦」という漢字が出てくるんですけど、ちょっと前までは、ちゃんと読んでいただけなかったりした時代もありました。梵家にとっての彼の功績は、「梵」という名前を、しっかり覚えていただいたことだろうと思っております。

その梵英心という選手のお陰で、こうやって皆さんに身近に感じていただけるような機会が増えまして、壇上でお話をさせていただくことが、年に20回ぐらいはあるんですけども、今日は、少しでも仏教を身近に感じていただけたらなと思って、色んな講題を持ってこさせていただきます。



先週でしたか、平和記念公園にカトリックのローマ教皇が来られました。私は仏教徒ですが、その日ばかりは平和公園に行かにゃいけんと思ひまして行きました。本川小学校の方から見ましたけれども、ローマ教皇のスピーチ、あとは讚美歌も聞こえてきまして、本川小学校の辺りといったら、皆さん、賑やかなエリアだろうかとは思ひうんですけども、あの時ばかりは非常にしんとした静寂というか、平和というたらこういうことを云うんかなというぐらゐの静けさの中で、思はず僕も十字を切りそうになっておりました。

ローマ教皇は、あとで新聞のスピーチを見ましたら非常に素晴らしいことを言われておりました。最終的には人間愛の部分であったり、世界平和ということが説かれておったなと。これは仏教もまったく同じでして、イスラム教はよう分かりませんが、世界平和というか、皆で手を取り合つて生きていこうよというのが宗教の非常に根っこの部分、一番大事にしとる部分であります。今日は、そういった中で、このビジネスというか、経営者の皆様方に、仏教的なニュアンスというか教えを、色んな基準がある中の一つの基準として、是非、覚えておいていただきたいなと思ひております。

今回、ご紹介をさせていただきたいのが、三次はどうですか、皆さんは「ゆかり」がありますか、来られたりしますか。色んなご縁があろうかと思ひますけれども、それこそ今では、三次のワインがわりと有名でおいしくなつてきました。それは醸造長というワインを仕込む方が代わられて、ニュージーランドで修行をされた方が来て一生懸命につくられている。その方と農家と一緒になつて、農家がワイン用のブドウを一生懸命に生産をしてくれるようになりまして、そのお陰で賞を取るぐらゐのワインが、今でき始めております。あとは、昔の伝統文化でいうと、三次は鶉飼とか色々あります。

最近、もしかしたら聞いたことがあるかもしれませんが、三次のお好み焼きで「三次唐麵焼」という辛いお好み焼きがあります。三次は、実はオタフクソースさんの文化があまりなくて、カープソースの文化があります。三次は、カープソースさんが本社ですので、広島市内のお好み焼きと比べるとちょっとピリッと元々辛い。甘辛いのが元々の特徴なんですけど、それをより一層辛くした「三次唐麵焼」というお好み焼きを商工会議所の青年部でつくつて、町おこしで一生懸命PRをさせていただいております。

これで一番大事にさせていただいておるのは、よし、売つて売つて、売りまくるぞということでもないし、PRをして皆に知つてもらおうということではなくて、やっぱり三次に来ていただいたお客様、観光客の方々にどう喜んでもらおうか、お昼のひと時でもいいし、夜のひと時でもいいし、三次に来てよかったなと思ひていただけるようなものをご紹介させてもらう。だから、私たちは「三次唐麵焼」というお好み焼きを勧めてはいるんですけども、その前後、これを食べたあとに三次の霧の海、三次の鶉飼に行つてほしいとか、これを食べる前に三次の霧の海を見てほしいとか、そういう前後のPRというものもさせていただいております。

どうしても町おこしといへば、ある一つのものがある、そこを集中的にPRをしていこうというのがよくあるケースなんですけれども、私達の場合はそこだけではなくて、その前後、その前後に携わる人達をピックアップして世に紹介をしていこうじゃないかとい

うことを色々させていただいております。

この色んなことをやっていく中で、私自身も大切にしているのが、この仏教的な要素の一つである「自利利他の他、他人の他」、これが非常に仏教では大事にしておるキーワードの一つでもありますし、実はキリスト教でも、この「他、他人」ということを「他者を愛しなさい」という言葉もあるくらい「他」というものを非常に大事しておりますから、私的には「自」というものを大事にするんですが、「他人の他」というものも大事にしていること。

経営者の皆様でするのでご存じかと思いますが、「三方よし」という言葉が、教えがあります。教えというか、経営の鉄則ともいえる内容がありますが、「我也よし、人もよし、すべてよし」、3つの「よし」で「三次」というて僕らがよく言うんですけども、私達はこの「三方よし」というものを忘れては、この経営という部分に関してもそうでしょうし、この根幹がやっぱり仏教の教えでもあります。

仏教、仏教とさっきから何回も連呼をするんですが、このなかには仏教徒の方もいらっしゃるでしょうし、神道の方もいらっしゃるでしょうし、キリスト教の方もいらっしゃるでしょうし、色んな宗教の方がいらっしゃると思います。少しだけ、仏教の基本的なところだけをお話をさせてもらえれば、仏教は今から約2,500年前にインドで誕生しました。日本に渡ってきたのが約1,500年前になります。

日本には色んな宗派があります。私は浄土真宗という宗派です。真言宗、天台宗、曹洞宗、臨済宗、日蓮宗さん、色んな宗派さんがいらっしゃいます。これは何が違うというか、選んだ教えが実は違うというのが一番大きいところです。お釈迦様が説かれた教えというのは84,000個あると云われております。84,000個のなか、どれも素晴らしい教えなんだけれども、私はこれをいただきます。よく私も、おコメに例えてお話をします。三次も新米がおいしい季節になりました。おコメを食べるときに、新米でおにぎり食べたいという人もいれば、ちょっと一晩寝かしてチャーハンにしたい、色んな食べ方を一つのおコメでされる方もいますけれども、好きなおコメの食べ方があろうかと思いますが、そのなかで浄土真宗は「南無阿弥陀仏」という教えがおいしかった。日蓮宗さんだったら「南無妙法蓮華経」という食べ方がおいしかった。色んな食べ方を選んで、今、様々な宗教があるんで、皆さんには少し分かりづらいことがあろうかと思いますが、仏教が日本に渡ってきて色んな教えが花開いた結果、日本のなかでは様々な宗派があるという流れになっております。

そのなかでも、一番統一して日本の仏教として大事にしておるのが、お釈迦様の教えというものは色んな伝え方、食べ方があるんですけども、一番大事なのは「他」というもの、「自利利他」というところを大事にしましょうというのが、仏教の中心的な基本的な考え方です。つつい私もまだ未熟なものですから、わしが、わしがというところが非常に強く出てきます。後々考えてみりゃ、あそこであの人を、もうちょっとああしときゃよかったとか、自分をもうちょっと抑えときゃよかったとか。うちのお寺も保育園がありまして、保育園で子供達もおりますし、保護者もおりますし、先生達もおります。結構ぶ

つかるとは、保護者の思いと先生の思い、経営する側と運営する側の思いが結構ぶつかるときがあります。非常に難しいバランスの中で、やらんといけんなというときがあります。

此間も、ちょっとありました。保育園事業ですので、園児の方々がいらっしゃらないと成り立っていかない。だから私は園児さんに来てもらいたい、来てもらいたいんですけども、先生たちは、やっぱり子供達の安全安心を考えてこれ以上は入れられないです。でも、私は入れてほしい。そこのバランスの部分で、ぶつかり合うことも多々あります。保護者の人は、やっぱり入れたい入らせてもらいたい。

色んな環境があるなかで最終的に判断をするところというのは、じゃあ、それがその人達にとってはどうなのか、私にとってはどうなのか、よくよく最近は考えるようになってきました。多分、今までだったら「いや、わしが、わしが」で貫き通しとったところもあったと思います。この「自利利他」という教え、この文字がそのまま「自分の自と利益の利、他人の他」に云えると、またの名を「自他一如」とも云うんです。「自分の自に、他人の他に、一つに、女偏に口を書いて如」という「自他一如」、自分も人も一つの如くという意味合いになったりもします。

経営者の皆さんだったら、なかなか判断に難しいところが結構あると思います。「こういかにゃいけんけど、これもちょっと大事にせにゃいけん。これを大事にしよったら、こっちがいけんようになる」、色んな判断に悩まれることがあると思いますけれども、この「他」というものを一つの基準にして考えていただきたいというところで、1つの問題を出させていただきます。

これはよくお説法でも使わせていただくんですけども、キリスト教の云い方で天国と地獄という表現があります。仏教では極楽浄土と地獄という表現になります。極楽浄土と地獄というたら、皆さんが想像したとおり、ええところと悪いところ。そういった世界観の話です。ある時、地獄を体験できるツアーがあったそうです。そこに参加をした人は、どんなツアーを体験したかという、こんなツアーだったそうです。地獄で暮らす人達を見つめるツアー。

そこに行って地獄に暮らす人達を見つめると、こういう場面があったそうです。地獄というたら、ものすごい世界だそうです。僕も行ったことがないし、行けと言われたら行かにゃあいけん世界かもしれませんけれども、行くと食りの世界と云われとるんです。食べる、要は食べたいけども食べられない、でも食べたい。これが、ずっと延々と繰り返していく。欲しいけど手に入らない、でも欲しい。だから、ずっと食べて食べて、手を出して、手は出すんだけども掴めない。非常に苦しい世界。

私らも生きとって、この世界でもありますね。貪るという言葉がよくあると思います。それがずっと繰り返し、繰り返しある世界は、地獄の世界だと云われています。そこに行くと、食べものを食べられない苦しみというのを凄く味わう場面があるそうです。例えば、皆さんは、お箸を使って目の前にあるご飯を食べられる。この箸が、皆さん、3メートルぐらいの箸になったときに、目の前のご飯をどうやって食べましょうか、箸が3メートル

あるんです。持つところは端を持たんといけんです。3メートルあるけど、短い辺を持って食べりゃあええということじゃなくて、ちゃんと持たんといけん。その時に、この3メートルの箸で、どうやって食べましょうか。ちょっと想像をしてみてください。なかなか食べづらいじゃないですかね。3メートルあるということは、多分、相当ずっしり重いかもしれません。

その地獄のツアーに行ったときに、もの凄くおいしそうなお飯が、目の前に山盛りにあるそうですよ。けれども3メートルの箸で食べようと思っても、なかなか食べられん地獄の亡者たちがそこにおったそうです。

一方で、極楽浄土のツアーというものが同じくあったそうです。極楽浄土に行ってみると、まったく同じような世界です。おいしい食べ物がそこに置いてあって、3メートルの箸が置いてあって、極楽の住人はこの3メートルの箸でなんと見事に食べよったそうです。

何が違うかという、地獄の亡者たちは、こうやってずっと食べよう食べようとするんだけど、食べられん。じゃけえ、いがみ合うそうです。おまえがそこにおったら箸がぶつかるとか、食べられんじゃろうが、人のせいにしてたり、わしがわしがで食べようとするんじゃけど、とっ散らかってしまう。だから、何時までたっても食べられんかったそうです。地獄はそうです。

極楽浄土は、上手に食べられよったそうです。どうやって食べよったかというたら、自分で食べよったんじゃなくて食べさせてあげとる。3メートルの箸で上手にすくって、相手に食べさせてあげよる。そうすると相手も同じように、目の前の人に食べさせる。だから食べさせ合いをする世界。お互いを「自利利他」、自分だけが食べるんじゃなくて、自分だけが食べよう食べようとする世界が地獄、他人にも食べさせてあげて他人の喜ぶ姿を見よって、自分も食べさせてもらえる、そういう世界が極楽浄土の世界だった。これが地獄と極楽の世界で、地獄の亡者のことを「我に利を書いて我利我利、我利我利亡者」という表現があったりする。わしが、わしが、わしが、わしが。

この話というのは、今、私らが生きとって、この世界でも正にあることだろうと思います。わしがわしがになるのじゃなくて、他の喜びというのをもちたらしめてみて、そこから自分の喜びというものにつなげていきましょう。お釈迦様が2,500年前に仏教を説かれました。仏教を説かれて悟りを開かれて、皆さんのところへお話をいったというのが仏教のスタートなんですけれども、悟りを開くまでに、実は非常に苦しい苦行をされたそうです。針のむしろの上に座ってみたり、水を飲まずにずっと過ごしてみたり、その苦しみを乗り越えた先に悟りがある。そこを追求しようということで、苦しい修行をされたそうです。

けれども、なかなか悟り、自分の欲がなくなることはなかった。でも悟りというのは欲をなくすこと。自分の欲しい欲しいという考えをなくしていくこと、これが悟りと云うんですけれども、この悟りを開けることがなかった。そんなとき、インドにはガンジス川という川がありまして、このガンジス川にちょっとひと息をつきに、川に身を沈めに行ったんですね。そのときの姿の仏像がまだインドにも残っておりますし、レプリカが日本の色んなところにあるんですが、本当にやせ細って皮と骨の体のお釈迦様の像があります。川に

身を沈めてほっとひと息ついたところに、ある一人の女の子が現われてくれたそうです。お釈迦さん、そんなに頑張らなくてしんどくないですか。苦行も大事なんだろうけども、命がなくなったらお終いですよ。どうぞこれを召しあがって、元気をつけてください。

この女の子の家は非常に貧しいお宅だったそうです。だから自分が食べる物、今から2,500年前のインドですから非常に裕福な場所ではないけれども、その女の子は苦しんだ人を見て、どうぞこれを召しあがってくださいとせざるを得なかった。この女の子の名前はスジャータという名前なんです。スジャータさんが持っていったものはミルク粥だったそうです。スジャータというて、小っちゃいのがコーヒーカップの横についてないですか、この語源はここなんです。人に優しく接する、本当は自分で飲みたいものなんじゃけれども困るとる人に与えてあげる。そうすることでお釈迦さんは力をいただいて、そこから仏教が始まった一つのきっかけになったとも云われとるんです。

私らは、ようよう考えてみていただければ、自分一人で生きておる人というのは、おってんないじゃろうと思います。誰かに支えていただいて誰かを支えて、お互いを密接に、自分では見えんぐらい網の目のようにつながりあって生きとるのが私らです。

ちょっとここで皆さんのルーツを探してみたいと思います。そうですね、私でいきましょうか。私には父と母がおります。私は「梵 大英」という命が、今一つここにあります。皆さんの命を1として、考えてみていただきたいです。そうすると、すぐ自分より1つ上の世代には2という命が、父と母それぞれがおりますから2という数字が出てきます。この2という自分にとって父と母、この2にもそれぞれに父と母がおりますから、次が4つの命が出てくるんです。私から見て、じいちゃん、ばあちゃんです。じいちゃん、ばあちゃんは4人おるんです。この4つの命にもそれぞれ父と母がおりますから、8個の命につながります。自分からいえば、ひいじいちゃん、ひいばあちゃんが8人おります。この8人のひいじいちゃん、ひいばあちゃんにもそれぞれに父ちゃん、母ちゃんがございますから、16。16個の命にもそれぞれに父ちゃん、母ちゃんがございますから32。32の次が64。64の次が128。128の次は、256。256人にもそれぞれに父ちゃん、母ちゃんがございますから512。512人にもそれぞれに父ちゃん、母ちゃんがございますから1,024。

今、十代を遡っていただきました、皆さんの先祖、皆さん一人ずつの先祖です。十代を遡ると1,024人という数字、1,024人の人が命が、皆さん、そのお一人お一人の命につながっております。

私はお坊さんですから、だいたい土日になると法事というのがあるんです。此間も50回忌、じいさん、ばあさんの50回忌をやらにやいけん。でも、父ちゃん、母ちゃんのも来年あるんじゃ、一緒にまとめてもらえんでしょうか。それはええですが、まあまあやりましょう。そういうことがあります。

だいたい皆さん、じいちゃん、ばあちゃん、なんとか、ひいじいちゃん、ひいばあちゃんぐらいまでは、なんとなくお顔が分かったり、どこの誰べえかが見えたりされると思います。大体、明治以降ですかね。江戸時代のじいちゃん、ばあちゃん、必ず皆さんにおつ

ちゃった訳ですよ。そのルーツの名前をご存じの方もいらっしゃると思うし、もうどこの誰やら分らんなどという、そういう世代に入ってくるのが、大体、ひいじいさん、ひいばあさん以上だろうと思います。

だから自分の命を考えてみたときに、十代を遡って1,024人なんですけど、その1,024人のうちの半分以上をつなげていただいた方々、自分とは血縁じゃない方を入れると、膨大な数の命が皆さんの今の命をつくられております。

それを考えると一人で生まれてきた命というのは勿論ないし、その1,000人は、十代を遡ってですから、二十代を遡ると100万人、三十代を遡ると10億人になるそうなんです。それぐらいの人達が与えてくれた命であるし、今のお立場を考えると、たった一言しか、多分、出てこんどと思います。「ありがとう」だろうと思います。

その「ありがとう」を表すのが、実は法事なんです。弔う訳でもないし、ええ世界に行ってもらおう、そういうのが法事ということではなくて、やっぱり自分の命を照らしてみると、多くの人達、身近な人でいうと何回忌という人達の命を改めて見つめてみて、「ありがとう」という言葉しか出てこんどと思います。そのつながりを感じて今の自分を知るといのが法事で、そこから学んでみると、やっぱり自分というよりは他人という、「他」ということを先ずは考えてみましょうよというのが、お釈迦様の説かれた大事なこの「自利利他」という教えになると思います。

私も色々活動をさせていただいて、三次でこんなことをやっております。見られたことがあるか分かりませんが、三次でしょ、「み、よ、し」で「3,4,4」のロゴマークをつくって、カープさんとコラボをさせてもらって「カープ344 Tシャツ」というのをつくって販売をしております。これは梵英心くんという選手と実は永川勝浩くん、この2人が三次出身のカープの選手ですから、この2人をもっともっと応援しようじゃないか。三次でも試合がありますから、盛り上げようということで、つくったこのカープとのコラボTシャツがありまして、だいたい年間で約2,000枚が販売されます。今まで6年ぐらいいやりましたかね。6年間ぐらいいやまして、だいたい1万着以上はカープファンに買っていたいております。

「カープ344 Tシャツ」、これを販売をさせていただいておりますが、この販売をした収益を実は「まち」に寄付をしております。その収益金というのは「まち」のスポーツ事業だったり、「まち」の地域活性化事業だったり、そういったところに寄付をさせていただく。循環型で「町おこし」をしていこうと。やった、売れたで終わりじゃなくて、もっともっと循環をさせていこうということで、それでカープさんにもご賛同をいただいて、毎年させていただいた。今年で最後になりました。

やはり何か物事をしていくときに、目の前のことをやっていくのは非常に大事なことですけれども、やっぱり「他」というものを見たときには、次の仕掛け、その次の仕掛けで、最終的には、また、もう1回自分のところにちゃんと戻ってくる。そういったことが非常に大事かなと思って、やらせていただいております。

お釈迦様の話に戻りますが、お釈迦様がスジャータさんからミルク粥をいただいて、悟

りを開かれるきっかけになりました。悟りを開いた瞬間、お釈迦様は苦しい苦行をした結果、その報われた気持ちというか、やった！悟りを開いたぞという気持ちになったそうです。仏教の悟りというのは、実は自分が悟るとというのが基本軸で勿論あるんです。だから、お釈迦様もよかった、これで死ぬまで終生穏やかに過ごしていけるかなと思って、また瞑想に入られたそうです。するとそこに、ある一人の仏様がでられて「お釈迦さん、今、悟ったその悟りを、自分のものだけにしといていいですか」という問い掛けをされたそうです。貴方の自らの喜びは、他人の喜びにしてあげてください。その他人の喜びを自分の喜びにまた替えてください、という教えを仏様からいただいたという逸話が残っています。

お釈迦様は、そこでよかった、わしはこれで悟った、ゆっくり過ごそうでえかったんかもしれませんが、一旦、自分のなかで立ち止まって考えてみたときに、やっぱり多くの人にこの教え、ありがたい教えを分け与えていこうといったところが、仏教のスタートになっております。この「自利利他」のスタートになっております。

この「自利利他」は聞かれたことのある方もいらっしゃると思いますが、大事にされていらっしゃる経営者の方が日本にも何人かいらっしゃいます。最近だと、京セラの稲盛和夫さん、そういう本も出されておられて、ここ近年ですけれども、実はお坊さんの修行、得度をなさりました。この「自利利他」、この「他」の教えに基づいた経営を心掛けるという出版もされとるぐらい稲盛さんは、「自利利他」というところに傾倒をされとってです。ちょっと前だと松下幸之助さん、名だたる人が実は「自利利他」、「三方よし」のところから派生をした「自利利他」という考え方に基づいた経営をされとってです。

私は商工会議所というところに入らせていただいております、その商工会議所をつかった渋沢栄一さんという方がいらっしゃいます。一万円札になる渋沢栄一さん、この方も実はこの「自利利他」、「他」というものを非常に大事にされた考えで、日本の近代化を進めていこうということで頑張られた方だと思っています。

渋沢栄一さんから時代を遡ってみると、戦国時代、安土桃山時代、あの辺りで、日本には3分類をされる商人がおりました。1つは浪速商人、浪速のあきんどは「儲かりまっか、ぼちぼちでんな」です。もう1つが伊勢商人。伊勢の商人は、伊勢神宮とかあの辺を中心に参拝客だったり、非常に賑わったエリアですから、あそこで経営をされとった方、商売をされとった方が伊勢の商人。浪速のあきんど、伊勢の商人で、もう一つのグループが近江商人。近江商人に、さっきの浪速のあきんどと同じように「儲かりまっか」と言うたら、浪速のあきんどは「ぼちぼちでんな」、これは絶対に儲かっとなりますよね。

近江商人は「儲かりまっか」と言われたら、「実はお陰さんで」と言っただけなんです。エリアとしたら関西圏で一緒なんです、だいぶ思想が違っただけです。近江商人という方は全国的に旅をしよったそうです。色んなところへ籠を担いで行って、近江商人が通ったあとには売るもんがなくなるぐらい商売をしていったという逸話があるぐらい「儲かりまっか」、「お陰さんで」の精神で商売をされとった。その「儲かりまっか」、「お陰さんで」を引き継いだのが今の稲盛和夫さんだったり、デパートだったら高島屋というデパートだったり、商社だったら伊藤忠商事(株)さん、こういったところがこの近江商人の経

営のマインドを引き継いどると云われとります。

皆さんはどうでしょうか。天気がいい日、例えば夏の暑い日は、太陽を見てありがたいなと思うてですか。ものすごい暑い日、酷暑といわれる、最近ではものすごい暑い日がありますけれども、カンカン照りの時に太陽を見て「ありがたいな、太陽ありがとう」と言うて、あんまりならんでしょ。でも、あの太陽がなかったら私らは生きていない訳で、冬にこの太陽を見ると「ぼかぼかとして、ええな」と言うて、これは人間の都合ですよ。照るとる太陽は変わらん訳ですから、四季もありますけれど、「今日もええ天気になったな」と思うか、「くそ暑い、どっかで陰がありゃあええの」と思うか、それぞれにあります。

日本人というのは、なんか四季を感じる文化というか、非常にいい言葉を残してくれとってです。太陽とは、あんまり言わんですよね、太陽は太陽ですから。英語で言うたら Sun ですよ。だから外国の人達は太陽のことを Sun と言うてですが、日本だとこの太陽のことを、太陽を見ながら「太陽がええな」とは言わんですね。「お日さんがええね」と言うて、「ええお日さんが出とってじゃね」とか、お日さん、お天道さんとか、そういう言葉になってくるんですが、「お」と「さま」をつけとります。

私も息子と娘がおりまして、パパとママはやめて、うちはお父さんお母さんにしようと思うたんですが、いつの間にかお父とお母になったんです。「お」がついとるけえ、ええかと思うてます。父ちゃん母ちゃんというのも馴染みやすくええんですが、「お」をつけてくれとるけえ、ええかなど。他にも色々あると思います。昔の日本人というのは、「お」と「さま」というのを実は大事なものにつけよったそうです。

自分達の生活や自分達の命に、大事なものに対して「お〇〇さま」というのを日本人はつけよったです。だが、お太陽さまとは言わんですね、お日さまですよ。だけど、ずっと太陽が照るとったら中々しんどいですよ。今年も猛暑がありましたけど、あの猛暑が365日あったらしんどいですし、やっぱり太陽の日だけではなくて陰があるからバランスが取れたり、その温かさを余計にありがたく感じたりします。

ここに、これを書いてみます「お陰様」という言葉があります。お日さまの反対の言葉になります。近江商人という方々は、この「お陰様」という言葉を非常に大事にされとったそうです。「陰」というのは、お日さまと比べて何が違うかという、見えんところのほうが多いんですよ。暗かったり、何かの物陰に隠れとるけえ、なかなか見えづらいものがいっぱいあります。しかし、照っていないところにも私達に対する色んな恩恵というものが沢山あって、その陰にすら「お」をつけて「さま」をつけて、非常にありがたい存在だということで近江商人達は商売をさせていただくとるけれども、私らの見えんところで、多くの人達が私達を支えていただいとる。それが旅で行った先々の旅館の宿の女将さんのおもてなしだったり、見えんところでご苦労さんと言うてくれたり、色んなことが私達のこの商売につながるとる。「ありがたいな、あんたら儲かるとる」、「いや、お陰さんで」、多くの方のお陰さんでというのが、この近江商人なんです。

なんで近江商人がこういう発想になったかという、実は近江の国には、素晴らしい日本仏教の中心地がある、比叡山延暦寺というところですよ。山の上のほうに非常に過酷な修

行をするところです。その比叡山延暦寺というお寺があるが故に、非常に仏教の要素が強いエリアが今でも滋賀県に残っておりますが、元々は近江という国のあった。私の属している浄土真宗という宗派も滋賀県とはつながりが深く、本願寺が京都にあります。一時期、滋賀県にあった時代もあったぐらい非常に仏教的な要素が強いエリアが近江という国です。だから皆さん、手を合わせてお念仏をされとったりするような方々が多かったが故に、「ありがたい、ありがとう」という仏教的な発想が商売でも生かされとったというのが伝わっております。

私らが生きていくなかで、この「他」というものを見過ごしては、なかなか生きていけないのは十分に皆さんはご存じだろうと思えますけれども、改めて今はすごい時代になって来よります。来年からは「5G」ですか、多分、皆さんのご職業にも大いに関係をしてくと。私も、此間、測量をされる姿を見よって学ばせていただきましたけれども、ドローンを使うのが当たり前な時代だろうと思えますし、色んなことが変わっていく時代になって来よります。変な話、人間がいらん時代が来よるような気がします。しかし、人間じゃないといけない理由が、そこには必ずあろうかと思えます。

私はこの「他」というもの、自分を中心にして「他」を見てみると、ものすごい範囲になります。お客様から始まって家族もそうかもしれませんし、会社の社員、色んなつながりが「他」と云われる方々なんだろうと思えます。私達は、その「他」というものをどう生かすか、特に皆様方のような経営をされている方々がそこを生かすということは、「他」を生かすということは「自」を生かす。そういったことを一つの経営の基準にさせていただくと、この日本のビジネスシーンも非常に温かみのある、そんな社会になるのかなとお坊さんの立場では思うんです。一つの判断基準ですから、皆さんのなかでも大切にされている経営学、経営の鉄則、色んなものがあろうかと思えます。しかし、この「自利利他」という仏教の教えを、ここを取り込んでいただければ凄くうれしいと思えます。

浄土真宗では、こんな言葉があるんです。「が」を捨てて「げ」で生きよう、「が」を捨てて「げ」で生きろと。わしがわしが、俺が俺がを捨てて、「お陰」で生きよと。言われてみれば若いうちは訳が分らないですけども、この年になって漸く何となく薄っすらと見え始めておりますけれども。この俺が俺がというのを捨てて、「お陰」、皆さんのお陰だよ。「げ」というのを大切にしたところに、この「自利利他」というものも一つ出てくるんじゃないかな。何となく見えてきました。

一番最初にお話をしたカトリックのローマ教皇、本川小学校の方から川を挟んでずっと僕も見よったんですが、多分、あの方がローマ教皇なんだろうなというのが本当に見えました。特に真っ白い衣装を着ていらっしゃる米粒のように見えましたけれども、あの場面はなかなか体験ができることではないし、あの場におったと言えるような距離ではないかもしれませんが、行ってよかったなと改めて思います。あの距離でも感動をしたんじゃない、目の前にいらっしゃったら非常に感動が大きかったんじゃないかと思えます。

この宗教というのは、皆さんにとってはもしかしたら難しい部類というか、もしかしたら関係ないと思われる事柄かもしれませんが、実は非常に皆さんの身近にあるもの

です。どれを選ぶかは皆さん次第というか、皆さんのご自由です。ただ、やはり私はおいしく食べてもらいたいと思うんですよ、その宗教を。私もたまたまお寺の者として生まれたですけれども、弟と話をした結果「ドラフトにかかったら兄ちゃんに頼むで、ドラフトにかからなかったら、わしが帰る」という約束で僕は帰ることになったんですが、半分冗談ですが、それも一つのご縁かなと思っておるんですけれども。

この浄土真宗の家のお寺にたまたま生まれた、だから自動的に浄土真宗という宗派をおいしくいただいているんですけれども、色んなのを一寸つまみ食いをしてもらいたいんです。自分はこれが好きじゃなとか、今までこうやって思ってたけれどもやっぱりこれはええなとか、色んな感動があると思います。何故かという、仏教は特にそうなんですけれども、生きとし生けるものへというのが鉄則です。亡くなった人へ、亡くなった人をではなくて生きとし生ける人達を、今の命をどう輝かせてもらうか、どういう生活をしてもらうか、そういったことが非常に大事に大事に説かれておりますので、生きていくなかでもヒントやアイデアというのが、沢山詰まっているなというのを凄く思うんです。

最後に、このお話をさせていただきたいと思います。今日も一つのご縁が、今、私をこの場に立たせていただいております。「縁」というのは色んなところに派生をしております、自分達は見えないことの方がよっぽど多いです。何事にも原因と結果というものがあまして、この結果だけを見てみると、良かったな悪かったなだけれども、一つの原因がその結果に結びつくとするというのは、皆さんは十分ご承知のところだろうと思います。「縁」というのは、実はこの原因と結果の真ん中にあることを「縁」というんです。原因があつて、結果があつて結びつくとするんですけれど、この真ん中が実は「縁」なんです。

「縁」というたら、どうも結果のような捉え方をされる方もいらっしゃると思います。これも何かの縁じゃねと、なんか終わってしまつるとする。そうじゃなくて、結果というものに行くための直接的なものが原因で、間接的なものが「縁」なんです。よくある話ですけれども、花の種を蒔いただけでは花は咲きません。勝手に咲くこともあるかもしれませんが、種を蒔くという行為が一つの原因になって、放っておいても、途中で雨が降ったり日が照ったり、若しくは人の手が入ったり、こういう間接的なもの、これがあつて初めて結果に結びつく、ここの部分を「縁」というんです。

だから「縁」ということを考えてみたときに、見えんことの方が沢山あるんです。それをふと感じる瞬間に、ふと感じた瞬間に、これも何かの縁じゃねという言葉になったりするんです。この「縁」というものに私達は、原因もそうですし、「縁」というものに囲まれて私達は生きております。さっきも話しましたが、法事とかでもそうですね。会ったことのない人の法事に立ち合ったりすることもあります。見たことのない人の法事、血縁とは云えども、なかなか直接的な関係性を感じられない人のご法事に会ったりするときがあります。しかし、それは私にとっての一つの大切な「縁」、この結果に結びついている「縁」の一つなんです。その感謝というものをさせていただくときに、是非、大事にさせていただきたいと思うこの「自利利他」にもつながってくるんです。

「恩」という漢字があります。鶴の恩返しという物語があります。あれは、おツルさん

はおじいさんに、この襖の向う側を見んといてくださいと言うて、でも見んといてくれと言われたら見とうなるじゃないですか。ほいで見てしもうたら、そこには美しいおツルさんではなく鶴の姿があって、「これ以上はここにおれませんから、おじいさん、どうかお元気で」と言うて飛び立って行きましたとさお終いが、日本昔話の鶴の恩返しです。ここは皆さんで、日本昔話のその先を一緒に考えてみていただきたい。おツルさんが、「おじいさん、さようなら、お元気で」と言うて行っちゃったです。その後のおツルさんを、皆さん一緒に考えていただければ。

その後のおツルさんの答えを、1, 2, 3と用意しました。その1, 鶴はだいたい雄と雌のつがいでおるそうです。おツルさんがおらんようになったということは、雄のほうが非常に探し回った。だから飛び立って行って、この探しとった雄と一緒にになったというのが、その1。その2, ちょうど飛来し始めるシーズンですかね。日本だったら鹿児島市の出水市が最終地点。一番南のエリアだそうですけども、色々なところへ鶴は来ます。シベリアの方から越冬をして来ますけれども、故郷へ帰っていったというのが、2番目。3番目は、酷い奴じゃと思わんといてください、亡くなった。お子さんがおったらこういう直接的な表現はできんのですが。

皆さんは、この1, 2, 3のどれじゃと思いますか。1番目は、つがいになって一緒に幸せに暮らした、ハッピーエンドですよ。映画でよく見かけるシーン、こうなるとってほしい。2番目は、地元へ帰っていった、故郷へ帰っていった。これもハッピーエンドです。3番はバッドエンドですね。死んでしもうた。どれじゃと思います、考えてみてください。どれも正解じゃろうと思います。

しかし、私はやっぱり3番を選んでしまうんです。本当は1番, 2番と言いたいところなんですけど、3番を僕は選んでしまうんですよ。その理由を聞いていただきたい。おツルさんは、おじいさんのところにどのくらいおったですかね。1日, 2日じゃないはずですよ。何カ月かはおったと思いますよ。なんでかと云うたら、反物を織りよっちゃったでしょ。着物、あれは皆さんはやられたことはないと思いますが、ぎっこんぼったんというて、うちも近所にそういう体験をするところがあるんで、やったことがあるんですが、非常に精神力も体力も使います。1枚の反物を織ろうと思うたら、まあまあの時間が掛ります。ということは何カ月か掛るとると思われます。

なんでそんなに、おじいさんのためにそこにおったかというたら、感謝をするためです。なんで感謝をしたかという自分の命を助けてもらった。おツルさんが織った反物は非常に高値で取引をされとったそうです。ということは非常に他のものと比べてよかったものがあつた。何故よかったかという、反物のなかに鶴の羽が沢山入つとった。羽毛です、だからきらびやかだし手触りもよかったでしょう。

ということは何カ月も何カ月も反物を織つとったおツルさん、そのおツルさんがつくつとったもののなかに沢山の羽が入つとった。何カ月も何カ月も自分の羽を取ってみてください、多分、残ってないですよ。じゃけえ、この先を見んといてくださいねというのは乙女心で、私の姿を見られたくなかつたというのが非常にあつたんだと思います。「これ以上

はおれませんから、どうかお元気で、そうすると羽のない鳥はやはり飛べませんし、寒さを越すことはできません。亡くなっちゃったんじゃないかなと思います。悲しいんですよ。しかし、おツルさんが、そこまで命をかけてまでしたことが、この「恩」、恩返しです。

仏教では、この「恩」というものを漢字ですけれども、皆さんが、息子さん娘さん、お孫さんから聞かれたらどうでしょうか。「恩というて、父ちゃんどういう意味」、「おじいちゃん、恩返しの恩はどういう意味」と聞かれたら、どうやって答えましょうか。なんか答えづらいですか。そんなときは、こう答えてあげてください。「恩」という漢字を書いてみい、真ん中を2つで割ってみい。そうすると、上には原因の因という漢字があるじゃろうと。下は、「梵 英心」の「心」とあるじゃろうと言うて、ここは一寸笑うところなんです。「心」、あんたが生まれてきた原因、あんたがここにおける原因、あんたが飯を食べとる原因、それを「心」で知りなさいと言ひよるんじゃ。「心」で留めなさい。そう、しっかり「心」で受け止めなさい。あんたの原因は、なんなんやということ「心」で知りなさいよ、というのが「恩」なんです。

これは元々はインド語で「お〜ん」と言ひます。中国人がどういう漢字にしようかになったんです。日本に入ってきて、「恩」をどういうふうに表示をしようかというて考えたときに、「恵」と書いて「恩恵」という言葉、「恩とは、恵なり」という言葉になりました。

私達は多くの方々からご縁をいただいて、他人様のお陰で今を生かさせていただいております。それが多分、今の私たちをつかさどる原因、多くの原因の一つ、それをしっかりと心で留める。そうすると自ずと出てくるのは、「ありがとう」という言葉になってくるんじゃないかなと思います。これが実は仏教なんです、仏教は難しいようなイメージがあるかもしれませんが、これをお釈迦様は説かれとってです。

是非、経営のなかでも、この「自利利他」、「他」というものを大事に大事に温めながら、最終的には自分のことを大事に、そういう経営を心掛けていっていただければ、この日本という社会は、非常にいい社会になるんじゃないかなと思っております。

益々の皆様のご活躍を祈念いたしまして、僭越ながら、私の講演とさせていただきます。また、皆さんとお会いできることを楽しみにしております。どうも今日は、ありがとうございました。



測量士合格体験記

株式会社安芸建設コンサルタント 西原郁志

私は、経済系の大学を卒業後スーパーマーケットという全くの異業種で働いていました。なぜ、測量士資格を取得する勉強を始めたかという、自分は今の仕事を続けたい事が疑問に思い、では何をしたいのか考えていました。ちょうど昨年「平成30年7月豪雨」に遭遇し、道路や河など災害復旧の仕事をしている測量士をみて、これは社会貢献の一端であり・一生の仕事になると考え、資格試験勉強を始めました。

勉強方法は、テキストを購入し、過去10年間の問題をひたすら解くというものです。最初は知識が全く無いということもあり、理解することができませんでしたが、何度も繰り返すたび、理解できる範囲が少しずつ増え、やる気の維持に繋がりました。

しかし、実務をしていないため、どうしても理解できない問題も多数ありました。その場合は実際とは違っていいので、こういう感じの仕事だろうと自分なりのイメージを作り、覚えやすさを重視しました。

記述についてはまず、自分ができると思う問題を決め、その部分を集中して勉強する、それに加え法令集を購入し、出題されやすい公共測量作業規程をそのまま暗記したり、用語とその意味をノートに書き写したりすることによって対策し勉強を続けました。

今の会社に勤めて、実際に働き始めると学んだ知識を上手く活かせず苦戦することばかりです。

しかし、現場に出て仕事をすることによって、自分がイメージしていたことの違いに気が付き、テキストでは理解できなかったことが理解できるようになり、そこに面白さとやりがいを感じています。

資格を取得した時、コツコツやり続けることの大切さを改めて痛感しました。私のように働きながら目指す人も多くいると思いますが、少しずつでもコツコツすることを維持できれば必ず取得できると思います。私の勉強方法が少しでも参考になれば幸いです。



測量士試験合格体験記

株式会社陸地コンサルタント 円城寺 裕 次

私は、今年の測量士試験に合格することができました。これは、会社の上司や先輩の方々のご協力によるものであり、改めて御礼申し上げます。

そこで、私が測量士の資格を取るにあたって実施・体験したことは以下の通りです
まず、昨年の測量士補試験に合格した私は、次に測量士の資格に挑戦しようとインターネットで参考書等がないか確認しました。しかし、特にこれといったものがなかったため、測量士の試験に合格された方の意見からとにかく過去問題を繰り返し解こうと思い、過去10年の問題を勉強するようになりました。

しかし、測量士補試験のための知識だけでは解けない問題が多く、そんなときは過去問題の解答を解説されている方のブログを見たり、上司の方に用語の意味や必要な知識等を教えていただき問題を解いていきました。中には知識だけでなく内容や解き方をそのまま覚えなくてはならないものがあり、そのような問題は内容を忘れないようにノートに繰り返し書き写して問題を解いてみたり、午前と午後の問題についてローテーションを組んで解いたりと問題が日によって偏らないようにして勉強していました。試験日まで三ヶ月前になると、コピー紙等にただひたすら過去問題を解き、解答する上での凡ミス等がないように一問一問を確実にかつ短い時間で解答できるように努めていきました。そして、無事試験に合格することができました。

私は、最初は内容がわからなくても過去問題を繰り返し解いていき、次第に用語の意味や計算方法を覚えていくことにより内容を理解していくことで合格できたのではないかと思います。



測量士試験合格体験記

株式会社陸地コンサルタント 小田 光治

私は、測量士試験に3回目の挑戦で合格することができました。これは、会社の方々のご指導とご協力により合格することができたものだと考えています。改めて、感謝申し上げます。

私が測量士試験の勉強としてやっていたのは、とにかく過去問を解くということでした。意味も分からず、ただただ問題を見て、解答を見る。これのみを行い、試験に挑んでおりました。計算問題などは、ある程度理解し、解けるようにはなったのですが、測量法などの暗記が必要なものはなかなか理解できず、どうしても覚えることができませんでした。その結果、2年連続で午前の合格ラインにも達することができず、不合格となりました。

この失敗から、暗記が必要な問題を理解することができるまで、表や図などを作って覚えることを行いました。理解できなければ、資料やネットを使い、解説がないかを探し、それを自分なりにかみ砕いてノートにまとめて覚えるようにしました。その結果、過去問の中で同じような問題が出たときに、解答することができ忘れることもなくなりました。試験直前には、午後の筆記試験対策として短い文章で解答できるようにし、それをひたすら覚えるようにしました。そのおかげで午後の試験でも焦らず、解答することができたと思います。

最後に、試験勉強を続けるために一番重要なのが、いかにモチベーションを維持できるかだと思いました。私にとっては、一緒に受けた後輩に置いていかれてはいけないというプレッシャーが、受検へのモチベーションの維持に繋がり、合格できたと思います。



RCCM（河川，砂防及び海岸・海洋） 合格体験記

株式会社広測コンサルタント 越水 一紀

1. はじめに

私は、平成31年3月、RCCM資格試験に合格することができました。広島県測量設計業協会主催のRCCM受験対策講習会を受講し、講師の方に心構えやポイントを教えて頂いたおかげです。この場をお借りして講師の方、主催の貴協会にお礼申し上げます。この機会に、私の試験対策を紹介し、皆様の参考になれば幸いです。

2. 試験対策

問題Ⅰ～Ⅳについて過去問題を分析、出題傾向と問題作成者の意図を的確に把握し、対策・準備を行うことが重要だと感じました。

問題Ⅰ（専門部門の業務経験論文）：願書に記載した業務実績と経験内容を一致させる必要があり、事前に作成し上司の添削を受け、作り込み完成形を暗記しました。また、普段不慣れな手書き文章の訓練も必要でした。

問題Ⅱ（一般知識（業務関連法制度、技術者倫理及びその他建設一般等））：過去問と似たような出題傾向で、過去問題と講習会テキスト及び国土交通白書等の社会情勢を把握しておくことが重要と考えました。

問題Ⅲ（業務管理技術力）：ある程度の出題傾向があり、キーワードを押さえ想定テーマごとに論文を作成し、自身の考えを文章に組み立てる訓練をしておくこと重要だと感じました。

問題Ⅳ-1（基礎技術知識）：過去問の反復勉強で十分と考えます。

問題Ⅳ-2（専門技術知識）：専門分野だからと油断せず、過去問の反復により、不得意分野の設問に特に注力しました。

3. おわりに

これまでの反省を踏まえて胸の内を一言紹介します。これまで、合格できなかった理由は言い訳を含めて「あれこれ、いろいろ、たくさん」ありました。でも、こうして合格できた理由はただ一つ、「あきらめないでやったから」の一言です。

2019年度より受験資格が緩和され、実務経験年数が3年短縮となりました。管理・照査技術者としても若手技術者の早期活躍も可能となりましたので、ぜひチャレンジしてください。



趣味の時間

株式会社イズタコンサルタント

代表取締役 泉田 義博

今回のお話を頂いてどのようなことを書こうかと色々思案いたしました。体験談や趣味等ということでしたので、協会誌にはどうかともおもいましたが、この度は私の趣味であるキャンプのことについて書いてみようと思います。

キャンプとの出会いはもう7～8年前になるかと思いますが、愛媛県大三島で友達が仲間内でキャンプをやっているの遊びにおいでと誘われたことがきっかけでした。その時は予定が入っていたので少し顔を出すだけと思い家族と4時ぐらいに遅れてキャンプ場につきました。その時にはもう皆さんテントやタープの設営を終えて夕食の準備や釣りをされていました。気候の良い5月の晴れわたった海の横のその場所は、すごく穏やかで本当に時間がゆっくりと過ぎていくような感覚になりました。その中でも私の目を引いたのは1つのテントで普通のテントはドーム型をしているのですが、そのテントは△の形をしていて1本のポールで立ち上がっており中に入ってみても大人の私が立って動いても十分な高さも広さももっていました。テントの色は落ち着いたイエローで私は一目で心を動かされ、その次の日にはアウトドアの本を買って熟読していました。

これまで趣味らしい趣味を持っていなかった私はそのテントを購入して9月にキャンプに行くことを決め、まず道具をそろえていきました。テントは一目ぼれをしたものを購入し続いて日差しをよけるためのタープ、テーブル、チェアと買い揃えていきました。

9月になり初めてのキャンプに出発しました。車はワンボックスなのですが家族5人分の荷物を積んでいたらバックミラーで後ろが見えないくらいの荷物になったのを覚えています。キャンプ場のサイトでテントを張ってみるとこれまた5人なので大きめのテントやタープはふつうに張ってはサイトに収まりきらず試行錯誤をしながらどうにか張ることができました。なんとか準備を終えて椅子に座ってゆっくり周りを見てみると木漏れ日と川のせせらぎが非常に心地よく非日常という空間を満喫できました。

そして夜BBQをするため火起こしを子供たちと一緒にやってみたのですがなかなか火が付きません、着火もコツがあり空気が下から上へ通るように少量の炭や薪を組んでいくことを子供たちと一緒に覚えました。楽しいBBQを終えた後、冷え込んできたのでコーヒーを飲みながら焚火をしたのですが焚火の火ってゆらゆら揺らめくんです（当たり前ですけど）そんな揺らめきをみているだけで癒されたし子供たちもマシュマロを焼いておいしそうにほおぼっていました。

設営したら自然に囲まれて何もしないという贅沢、本当に時間がゆっくり過ぎていく感覚になります。そのような時間を演出してくれるキャンプが私は大好きです。

本年度から働き方改革が本格化して業務の時間が厳しく管理されます。1日はすべての人平等に24時間です。その時間を会社もそうですが、働く時間、休む時間、楽しむ時間、学ぶ時間、各個人がどのように使うかがこれからの時代は問われているのかと思います。末尾になりますが拙い文をお読みいただきありがとうございます。



ボウリング大会

【団体優勝】 株式会社陸地コンサルタント

【個人優勝】 伊藤 英幸



藤原 亘

渡辺光美

桐吉幸治

伊藤英幸

【藤原 亘】

あとの3人は前回の団体優勝のメンバーであり、私の参加により成績が下がってはいけなないと頑張りました。個人目標の300には20ピン足りませんでした。団体優勝に少しは貢献できたのではないかと考えています。久しぶりのボウリングを楽しむことができ、ありがとうございました。

【渡辺 光美】

私は年に1回開催されるこの大会をとっても楽しみにしています。去年は災害のため開催されなかったため、今年の大いに掛ける意気込みは相当なものでした。しかし、その意気込みが空回りしたのか、大会前に行った練習は悲惨な結果・・・それを引きずって本番を迎えました。チームの足を引っ張らないことだけを考えて投げました。ストライクがなかなか来なくて苦しい投球でしたが、何とか最低の目標だけはクリアできたので良かったです。来年も参加できるよう、健康な体づくりを心がけようと思います。

(ここだけの内緒話「実はメンバーには内緒で数か月前から週3で練習していました。」)

【桐吉 幸治】

年に一度、この大会に参加することを大変楽しみにしています。ボウリングは10年以上前に熱心にやっていましたが、最近は運動不足の解消の為、月に1~2回投げに行っています。今回は団体優勝と個人優勝を狙って参加しましたが、団体は優勝できたものの個人の部はIさんが優勝、大会前にちょこっと練習しただけのあのIさんに負けるなんて残念で仕方がありません。次回は頑張るぞ！！

【伊藤 英幸】

この度は、団体と個人優勝のW優勝を達成でき大変嬉しく思っております。

今回で5度目の出場です。過去4回のアベレージは154、今回はアベレージ150を目標で参加しました。

前回の第4回は、1ゲーム目が213と出だし好調でしたが、2ゲーム目は95と大荒れでした。

今回も1ゲーム目は214と上出来、前回の大荒れが一瞬頭をよぎりましたが、辛抱して2ゲーム目は181と大きく崩れることなく個人優勝することができました。

若かりし頃、ボウリングに夢中になり、小遣いの全てをボウリングにつき込んでいた時期もありました。しかし、いつしか熱も冷め、今ではボウリングをするのはこの大会だけになりました。スコアはラッキーが重なり実力以上の結果が出てビックリしております。

最後になりましたが、広島県測量設計業協会の皆様には、このような場を設けて頂きまして感謝しております。そして大会に参加された皆様、お疲れさまでございました。

(一社)広島県測量設計業協会 青年部会の発足と活動について

(株) 荒谷建設コンサルタント 代表取締役社長
 (一社) 広島県測量設計業協会 青年部会 幹事長
 荒谷悦嗣

【青年部会の発足について】

令和の元号スタートのタイミングである令和元年5月に、県測協会員の皆さまのご理解とご協力のもと「(一社)広島県測量設計業協会 青年部会」としての活動をスタートしました。そもそも青年部会の母体となったのは、平成30年度の県測協新体制とともに総務広報委員会の管轄下に発足した「担い手確保対策推進プロジェクトチーム」でありました。本プロジェクトチームは、会員企業の若手の力を結集して担い手確保に関する事業を推進しています。このプロジェクトチームを更に発展させる形で、任意団体としての青年部会の発足に踏み切りました。

青年部会の会員は、広島県測協会員企業に所属する50歳以下の経営者、後継者、ならびに経営者が推薦する者としています。

青年部会設立の狙いは2つあります。一つは事業承継に欠かせない若手経営者や後継者同士のネットワークを形成すること、そしてもう一つは若い世代の感性と機動力を活かした担い手確保の取り組みを行うことです。

本年5月7日に開催した設立総会には広島県測協会員企業から11名が出席し、平賀勝秀部会長(ウムヴェルト(株)代表取締役社長)、日野原健三副部会長((株)日野原富士コンサルタント専務取締役)、泉田義博副部会長((株)イズタコンサルタント代表取締役社長)、土肥廣大副部会長((株)セトウチ取締役部長)、荒谷悦嗣幹事長((株)荒谷建設コンサルタント代表取締役社長)、田丸哲志監事((株)タマルコンサルタント常務取締役)が役員として選出されました。この設立総会場で平賀部会長は「和を以て結集～青年部会員の若い力を『和を以て結集』し建設関連業の発信と次世代の担い手を確保しよう～」を初年度の基本理念に掲げ、部会長所信を公表しました。また、青年部会の当面の活動の柱は「担い手確保」



7月に行われた設立総会
 平賀部会長
 大七ウチ取締役社長、理事を田丸哲志(株)タマルコンサルタント代表取締役

広島県測量設計業協会

青年部会が発足

担い手確保、業界発展へ若手団結

広島県測量設計業協会に新たに青年部会が発足した。次世代の担い手確保が急務となる中、会員企業の若手経営者、次世代の経営者となる若手が協同し、建設関連業の発展と次世代の発展に資する活動を行い、建設関連業の健全な発展に寄与していく。協会では担い手確保推進プロジェクトチームリーダーを務める荒谷悦嗣幹事長(株)荒谷建設コンサルタント社長が中心となって呼び掛け、7日に設立総会を開催した。設立総会では平賀勝秀ウムヴェルト代表取締役社長と、泉田義博(株)イズタコンサルタント社長と、土肥廣大(株)セトウチ取締役部長と、田丸哲志(株)タマルコンサルタント常務取締役と、荒谷悦嗣(株)荒谷建設コンサルタント代表取締役社長と、日野原健三(株)日野原富士コンサルタント専務取締役と、平賀勝秀(ウムヴェルト(株)代表取締役社長)が役員として選出された。部会長所信を公表した。また、青年部会の当面の活動の柱は「担い手確保」

丸賀勝秀(ウムヴェルト(株)代表取締役社長)は「和を以て結集」として、初年度の基本理念を公表した。また、青年部会の当面の活動の柱は「担い手確保」

ということで、職務分掌を大きく3つに分け、泉田副部長が「子供向け職業体験イベント」、日野原副部長が「業界PRパンフレット作成」、土肥副部長が「高校・大学等への業界説明会」をそれぞれ担当することとなりました。

【青年部会の活動について】

子供向け職業体験イベントについては、昨年から広島県主催で「ひろしま建設フェア」が開催されており、本年10月にこちらへのブース出展を行いました。建設関連の各業界団体がショベルカーやミキサー車等の展示を行う中、県測協青年部会は「ダ・ヴィンチの橋による橋梁設計体験」「UAVシミュレータ」「MMS・橋梁点検車展示」を行いました。「ダ・ヴィンチの橋」はその名の通り、レ



オナルド・ダ・ヴィンチが発案したとされる、接着剤やネジ等を使わない力学的に合理的な橋です。写真のように割り箸で手軽に組むことができ、何本の箸を使ったかを競うゲーム性もあり、子供たちに非常に人気を博しました。UAVシミュレータや展示車両にも長蛇の列ができるなど反響もあり、次世代の担い手確保に資するイベントになりました。

高校・大学等への業界説明会については、県測協単独開催のものと、広島県・広島建設青年交流会との三者共催の2パターンがあり、高校・高専・専門学校・大学合わせて8校に対して測量設計業界のPRを行いました。特に三者共催の場合、公務員や建設業と比べて測量設計業は学生にとってピンときにくい業界であることもありますので、青年部会が請け負った本年よりビジュアル重視の業界説明PowerPointをゼロから作成し直したり、座学だけでなく校庭でUAV測量のデモを行うなどして、測量設計業界を知ってもらう様々な工夫を凝らしました。また、これまで県測協では実績のなかった庄原実業高等学校等への説明会を実施しました。

業界PRパンフレット作成については、目的を広島県測協のPRではなく担い手確保に絞り、文章中



心の旧パンフレットを廃止し、こちらもビジュアル重視のパンフレットにリニューアルしました。測定の最先端技術や昨年の災害対応を前面に出したり、広島県測協会員企業で活躍する若手技術者にページを割くなどして、若い世代や測量設計業を知らない人にも興味を持ってもらえるように工夫しました。こちらは上述の学校での説明会等で配布し、学生のみならず関係各位にも概ね好評をいただいています。



この他、本年9月には(一社)鳥取県測量設計業協会の若手経営者との意見交換会を広島市内で行いました。それぞれの若手会の代表者3名ずつから会社経営やBIM/CIM、災害対応等について発表をし、続いて双方から活発な意見交換が行われました。非常に有意義な情報交換の場になったと共に、測量設計業の若手経営者ネットワーク構築の場になりました。

【終わりに】

中小企業における後継者問題は、測量設計業に限らず切実な問題となっています。こうした問題に対して、同世代の若手経営者や後継者のネットワークをつくることが必要不可欠です。青年部会に上述のような事業や意見交換会等を通じて、同世代や後継者ならではの悩みや業界の将来に対する思いを共有することが、会員企業の健全かつ永続的な発展に寄与するものと考えます。

また、平成30年7月に発災した西日本豪雨災害は、私たちの郷土である広島県に広範かつ甚大な被害をもたらしました。こうした災害にいち早く対応するのは私たち建設関連業に携わる者の使命といえますが、依然として人手不足は否めず、建設関連業における次世代の担い手確保は急務であります。業界の若手が「和を以て結集」し、青年部会という新たな枠組みで建設関連業のプレゼンス向上と業界の発展に資する上述のような活動を行うことで、必ずや建設関連業の健全な発展に寄与すると考えています。

総 会

第43回通常総会

開催日：平成31年4月25日（木） 16:00～

会 場：ひろしま国際ホテル

議 題

- 1 平成30年度事業報告承認について
- 2 平成30年度収支決算報告承認について
- 3 平成31年度事業計画（案）について
- 4 平成31年度収支予算（案）について



平成30年度 理事会（平成31年1月～平成31年3月）

第5回理事会

開催日：平成31年1月11日（金） 15:00～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 平成30年度総務広報委員会担当事業の状況について
 - (1) 広報誌の紙面構成等について
 - (2) 広島県への寄附金の贈呈（新聞記事）
 - (3) 新潟県測量設計業協会パンフレット
- 2 平成30年度技術委員会担当事業の状況について
技術講習会に関するアンケート調査について
- 3 平成30年度経営委員会担当事業の状況について
国の4事務所長との意見交換会について
- 4 その他
第43回通常総会の開催日程等について

第6回理事会

開催日：平成31年3月26日（火） 15：00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 平成30年度事業実績及び決算見込について
 - (1) 総務広報委員会
 - (2) 技術委員会
 - (3) 経営委員会
- 2 平成31年度事業実施方針及び事業計画・予算について
 - (1) 総務広報委員会
 - (2) 技術委員会
 - (3) 経営委員会
- 3 平成30年度予算の流用について
- 4 平成30年度決算見込について
 - (1) 平成30年度収支計算書（見込）（案）
 - (2) 貸借対照表（案）
 - (3) 財産目録（案）
- 5 平成31年度予算について
平成31年度収支予算書（案）
- 6 平成31年度暫定予算について
平成31年度収支暫定予算書（案）
- 7 その他
 - (1) 第43回通常総会の運営について
通常総会及び懇親会 次第（案）
 - (2) 平成31年度第1回各委員会及び理事会の日程調整について
 - (3) （一社）広島県測量設計業協会 青年部会について
設立趣意書（案）及び会則（案）
 - (4) 全測連会長表彰候補者等の推薦について
「全測連会長表彰候補者及び同感謝状贈呈候補者の推薦について」及び
「表彰規程及び運用細則」（全測連）
 - (5) 全測連中国地区協議会災害時における相互応援について
全測連中国地区協議会災害時における相互応援に関する協定（案）

平成 31 年度（令和元年度） 理事会（平成 31 年 4 月～令和元年 12 月）

第 1 回理事会

日 時：令和元年 6 月 4 日（火） 15：00～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 平成 31 年度（令和元年度）委員会担当事業の協議結果（課題）について
 - (1) 総務広報委員会
 - ① 広島工業大学アンケート結果について
 - ② 建設女子カフェの開催のご案内
 - (2) 技術委員会
 - ① R C C M 講習会アンケート結果について
 - ② 平成 29 年度（第 5 回）調査設計業務関係技術発表会
 - (3) 経営委員会
 - ① 市町への要望書（案）
 - ② 経営者懇談会 講師について
- 2 その他
 - (1) 青年部会の発足について
 - (2) 全測連中国地区協議会災害時における相互応援に関する協定 外

第 2 回理事会

日 時：令和元年 9 月 26 日（木） 15：30～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 令和元年度委員会担当事業の状況について
 - (1) 総務広報委員会
 - ① 役員及び職員表彰について
 - ② 親睦事業（ボウリング大会）について
 - ③ 担い手確保に向けた取組（担い手確保対策推進プロジェクトチームの取組）
 - ④ 第 58 回地図ならびに地理作品展について
 - (2) 技術委員会
 - ① 全測連「3次元計測・活用技術研修」
 - ② 第 6 回調査設計関係技術発表会
 - ③ 建設関連 5 団体共催講習会（独禁法関係）
 - (3) 経営委員会
 - ① 県（本庁）との意見交換会について
 - ② 国の 5 事務所長との意見交換会
 - ③ 県内市町への要望について
 - ④ 経営者懇談会について
- 2 その他

第3回理事会

日 時：令和元年11月28日（木） 15：00～

会 場：ひろしま国際ホテル

議 題

全測連から協力依頼の台風19号災害復旧業務に係る支援への対応について

- 1 令和元年度 台風19号 災害復旧業務の支援について（協力依頼）
- 2 令和元年度 台風19号 災害復旧業務の支援について（再度の協力依頼）
- 3 福島県支援の現状について（鳥取県測協）

第4回理事会

日 時：令和元年12月20日（金） 14：15～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

1 令和元年度委員会担当事業の状況について

- (1) 総務広報委員会
担い手確保に向けた取組（担い手確保対策推進PTの取組）
- (2) 技術委員会
- (3) 経営委員会
県（事務所）との意見交換会について

2 令和2年度の役員改選に係る候補者の選出について

役員候補者選出委員会設置規程及び役員（理事及び監事）候補者選出要領（案）

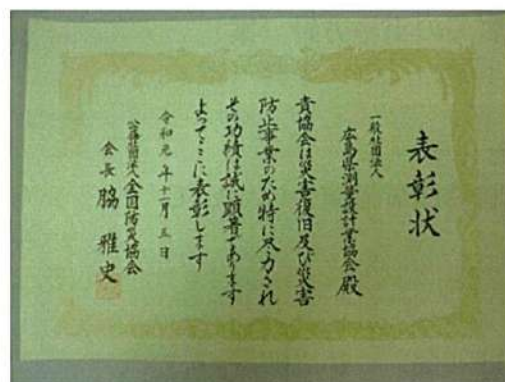
3 その他

- (1) 第44回通常総会の開催日程等について
- (2) 広島ががら山実証実験プロジェクトへの資金支援について 外

平成30年7月豪雨災害に係る事業功労者表彰状 授与

授与日：令和元年11月5日（火） 13：30～

会 場：砂防会館 別館（東京都千代田区）



表彰状の写真

平成30年度 委員会（平成31年1月～平成31年3月）

I 総務広報委員会

第2回総務広報委員会

開催日：平成31年3月1日（金） 15：00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 平成30年度事業実績及び決算見込について
 - (1) 平成30年度担当事業の事業実績
 - (2) 平成30年度担当事業の決算見込
- 2 平成31年度事業実施方針及び事業計画・予算について
 - (1) 平成31年度担当事業の実施方針（案）
 - (2) 平成31年度担当事業の計画・予算（案）

II 担い手確保対策推進プロジェクトチーム会議

第2回担い手確保対策推進PT会議

開催日：平成31年3月1日（金） 16：15～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 平成30年度担い手確保対策推進PTの取組実績について
- 2 平成31年度担い手確保対策推進PTの取組計画について
- 3 （一社）広島県測量設計業協会 青年部会の設立について

III 技術委員会

第2回技術委員会

開催日：平成31年2月22日（金） 16：00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 平成30年度事業実績及び決算見込について
 - (1) 平成30年度担当事業の事業実績
 - (2) 平成30年度担当事業の決算見込
- 2 平成31年度事業実施方針及び事業計画・予算について
 - (1) 平成31年度担当事業の実施方針（案）
 - (2) 平成31年度担当事業の計画・予算（案）
- 3 その他
 - (1) i-Constructionセミナー
 - (2) 第24回中国地区測量技術講演会について

IV 経営委員会

第2回経営委員会

開催日：平成31年3月8日（金） 16：00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 平成 30 年度事業実績及び決算見込について
 - (1) 平成 30 年度担当事業の事業実績
 - (2) 平成 30 年度担当事業の決算見込
- 2 平成 31 年度事業実施方針及び事業計画・予算について
 - (1) 平成 31 年度担当事業の実施方針（案）
 - (2) 平成 31 年度担当事業の計画・予算（案）

平成 31 年度（令和元年度） 委員会（平成 31 年 4 月～令和元年 12 月）

I 総務広報委員会

第 1 回総務広報委員会

開催日：令和元年 5 月 17 日（金） 15：00～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 令和元年度 検討・協議課題
- 2 平成 31 年度（令和元年度）担当事業の実施方針及び計画・予算
 - (1) 表彰規程
 - (2) 広島県建設産業課資料
 - ア 平成 31 年度建設業の担い手確保・育成の推進について（案）
 - イ 土木・建築系学科の高校生等を対象とした建設企業ガイダンスについて（案）
 - ウ 建設フェアの開催について（案）
 - (3) 時間外労働等改善助成金交付申請
 - (4) 働き方改革関連法に関する講習会 次第（案）
- 3 その他
 - 青年部会の発足について

II 担い手確保対策推進プロジェクト会議

第 1 回担い手確保対策推進 PT 会議

開催日：令和元年 5 月 17 日（金） 16：15～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 令和元年度 PT 会議検討・協議課題
- 2 平成 31 年度（令和元年度）担当事業の実施方針及び計画・予算
 - (1) 平成 31 年度建設業の担い手確保・育成の推進について（案）
 - (2) 土木系・建築系学科の高校生を対象とした建設企業ガイダンスについて（案）
 - (3) 建設フェアの開催について（案）
- 3 その他
 - (1) 青年部会の発足について
 - (2) ひろしま“ものづくり”技能検定について

III 広報誌編集会議

第1回広報誌編集会議

開催日：令和元年11月12日（火） 15：00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 広報誌の編集方針について
- 2 その他

IV 総務委員会担当事業

1 働き方改革関連法等に関する講習会

開催日：令和元年5月30日（木） 13：15～

会場：広島県立総合体育館

講師：広島労働局雇用環境・均等室
働き方・休み方改善コンサルタント
三時 範裕 様

内容：働き方改革の関連法のポイント

参加者：20社41名



2 学校説明会

(1) 広島工業大学 環境学部

開催日：令和元年5月24日（金） 13：15～

主催：（一社）広島県測量設計業協会
担い手確保対策推進PT

対象者：地球環境学科



(2) 広島県立西条農業高等学校

開催日：令和元年6月17日（月）

13：20～

共催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：緑地土木科1・2年生



(3) 広島県立広島工業高等学校

開催日：令和元年6月28日（金）

13：30～

共催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：土木科3年生



(4) 呉工業高等専門学校

開催日：令和元年10月16日（水）

14：30～

共 催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：環境都市工学科2年生



(5) 広島県立庄原実業高等学校

開催日：令和元年11月1日（金）

11：50～

共 催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：環境工学科 地域開発類2年生



(6) 広島工業大学専門学校

開催日：令和元年12月4日（水）

13：00～

共 催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：土木工学科1年生



(7) 広島工業大学 工学部

開催日：令和元年12月13日（金）

15：00～

主 催：（一社）広島県測量設計業協会
担い手確保対策推進 PT

対象者：環境土木工学科



(8) 呉工業高等専門学校

（女性技術者との交流会）

開催日：令和元年12月19日（木）

14：40～

共 催：広島県土木建築局建設産業課
（一社）広島県測量設計業協会
広島建設青年交流会

対象者：土木系・建築系学科女学生



3 広島工業大学（環境学部・工学部）インターンシップ募集

期間：令和元年6月3日（月）～6月14日（金）

4 地図地理作品展

開催日：令和元年9月7日（土）～9月22日（日）

会場：5-Days こども文化科学館

表彰対象：小学校・中学校・高等学校 各1名

5 建設業女子カフェ

開催日：令和元年8月19日（月） 13：30～

会場：ホテルグランヴィア広島

対象：県内高等学校及び高等専門学校等の土木系学科及び建築学科の女子生徒

6 ひろしま建設フェア2019

開催日：令和元年10月5日（土） 10：00～

会場：広島マリーナホップ

主催：広島県、（一社）広島県建設工業協会、広島県建設業協会連合会、
建設産業専門団体中国地区連合会、（一社）広島県測量設計業協会

来場者：約13,000人



7 ボウリング大会

開催日：令和元年10月19日（土） 10：00～

会場：広島パークレーン

参加チーム：19チーム



8 優良職員表彰

表彰式：令和元年12月4日（水） 16：15～

会場：ひろしま国際ホテル

表彰者：経営者懇談会前に森協会長から表彰

被表彰者：ケイ・エム調査設計(株) 小林英司様
(3社4名) ケイ・エム調査設計(株) 横畠信也様
(株)知久設計 高杉博志様
復建調査設計(株) 森浜留美様



9 広報パンフレット作成・配布

建設関連業が担う役割や社会貢献，当協会の活動，社員の声等を分かり易くビジュアルで紹介するためのパンフレットを作成し，企業ガイダンスや大学生に向けた説明会で配布した。

委託先：(株)明宣社

期 間：令和元年6月14日（金）～8月30日（金）

仕 様：A4版8P（カラー印刷），マットコート110kg

部 数：1,000部



V 技術委員会

第1回技術委員会

開催日：令和元年5月16日（木） 15:00～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

議 題

- 1 令和元年度 検討・協議課題
- 2 平成31年度（令和元年度）担当事業の実施方針及び計画・予算
 - (1) 講習会運営規程
 - (2) RCCM講習会アンケート調査票
 - (3) 平成30年度研修計画に関する問い合わせ（全測連）
- 3 第6回調査設計関係技術発表会
 - (1) 平成29年度技術委員長会議次第
 - (2) 平成30年度「国土交通功労者」局長表彰，「工事成績優秀企業認定書」について
 - (3) 全測連中国地区協議会第5回調査設計関係技術発表会次第
- 4 その他
 - 青年部会の発足について

VI 技術委員会担当事業

1 技術士第二次受験対策講習会（CPD対応）

開催日：平成31年4月9日（火） 9:30～

会 場：広島県立総合体育館

講 師：技術士 矢木 一光 様

参加者：11社16名（中国4県測協会員，
非会員含む）



2 コンクリート診断士受験対策講習会 (CPD 対応)

開催日：平成 31 年 4 月 12 日 (金) 9:30~

会場：広島県立総合体育館

講師：広島県コンクリート診断士会

参加者：13 社 15 名 (中国 4 県測協会員,
非会員含む)



3 RCCM 受験対策講習会 (CPD 対応)

開催日：令和元年 5 月 27 日 (月) 9:30~

会場：広島県立総合体育館

講師：工学博士 山下 祐一 様

参加者：11 社 19 名 (中国 4 県測協会員,
非会員含む)



4 災害復旧実務講座 (コンサルタント編)

(CPD 対応)

開催日：令和元年 6 月 11 日 (火) 10:10~

会場：広島県立総合体育館

参加者：21 社 43 名 1 個人 (中国 4 県測協会員,
非会員含む)



5 賛助会員による技術向上講習会 (CPD 対応)

(1) 第 1 回

開催日：令和元年 7 月 23 日 (火) 13:30~

会場：広島県立総合体育館

講師：岡三リビック(株)中国支店

(株)ジツタ中国

西尾レントオール(株)中国支店

参加者：15 社 50 名



(2) 第 2 回

開催日：令和元年 9 月 9 日 (月) 13:30~

会場：広島県立総合体育館

講師：(株)トリンプルパートナーズ中国

福井コンピュータ(株)中国四国営業所

(株)マシノ

参加者：17 社 45 名



(3) 第3回

開催日：令和元年9月25日（水） 13：30～
 会場：広島県立総合体育館
 講師：前田工織(株)広島支店
 丸栄コンクリート工業(株)広島支店
 ランドス(株)中国西支店
 参加者：13社28名



6 RCCM 受験対策直前講習会

開催日：令和元年10月29日（火） 14：00～
 会場：広島県建設業協会連合会 会議室
 講師：工学博士 山下 祐一 様
 参加者：1社1名



7 全測連中国地区協議会関係

(1) i-Construction セミナー in 広島 (CPD 対応)

開催日：平成31年4月22日（月） 13：00～
 会場：広島県民文化センター
 講師：国土交通省中国地方整備局 他
 参加者：331名（広島会場）

(2) 第24回中国地区測量技術講演会

(CPD 対応)

開催日：令和元年6月24日（月） 13：00～
 会場：広島県民文化センター
 参加者：407名



(3) 2019 全測連「3次元計測・活用技術研修」

(CPD 対応)

開催日：令和元年7月8日（月） 9：55～
 会場：広島県立総合体育館
 参加者：70名
 （内 9社21名広島県測協会員）



(4) 第6回調査設計関係技術発表会 (CPD 対応)

開催日：令和元年10月1日(火) 13:00～

会場：広島県民文化センター

参加者：123名

(内 74名広島県測協会員)



(5) 独禁法講習会(建設関連5団体共催)

(CPD 対応)

日時：令和年10月15日(火) 13:30～

会場：広島県民文化センター

参加者：約230名

(内 45名(広島県測協会員))



VII 経営委員会

第1回 経営委員会

日時：令和元年5月21日(火) 15:00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 令和元年度 検討・協議課題
- 2 平成31年度(令和元年度)担当事業の実施方針及び計画・予算
 - (1) 市町への要望書(H30 要望書)
 - (2) 新聞記事・記者発表資料(国交省)
- 3 その他
青年部会の発足について

第2回経営委員会

日時：令和元年9月12日(木) 16:00～

会場：広島県建設業協会連合会 会議室

議題

- 1 令和元年度 担当事業実施方針(状況)について
- 2 県(本庁)との意見交換会について
 - (1) 令和元年度 営業担当者会意見交換会(議事要旨)
 - (2) 広島県業務関係契約動向
 - (3) 国土交通省登録資格の概要について
 - (4) 平成29年度 提案及び要望
- 3 国の5事務所長との意見交換会について
平成30年度 意見交換の議題
- 4 県内市町への要望について
市町への要望書, 要望の状況(概要)
- 5 経営者懇談会について

Ⅷ 経営委員会担当事業

1 災害実施設計等の新年度の業務発注等に関する県（部長）との意見交換会

日 時：令和元年5月28日（火） 13：30～

会 場：土木建築局長室

2 営業担当者会議

日 時：令和元年8月26日（月） 15：30～

会 場：広島県建設業協会連合会 会議室

3 県（本庁）との意見交換会

日 時：令和元年10月24日（木） 14：55～

会 場：ひろしま国際ホテル

※ 詳細は、56 ページに掲載。



4 国（5事務所）との意見交換会

日 時：令和元年11月28日（木） 16：30～

会 場：ひろしま国際ホテル

※ 詳細は、57 ページに掲載。



5 経営者懇談会

日 時：令和元年12月4日（水） 16：40～

会 場：ひろしま国際ホテル

講 演

「自利利他～仏教から学ぶ経営のヒント～」

専法寺 副住職 梵 大英 様



6 県建設事務所長との意見交換会

日 時：令和元年12月20日（金） 16：00～

会 場：ひろしま国際ホテル

※ 詳細は、56 ページに掲載。



7 市町要望

(1) 安芸高田市

日時：令和元年6月3日（月） 10：55～

会場：市長室

出席者

（市） 市長，副市長，建設部長，次長

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(2) 廿日市市

日時：令和元年7月5日（金） 10：00～

会場：部長室

出席者

（市） 建設部長，次長（兼）建設総務課長

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(3) 大竹市

日時：令和元年7月9日（火） 15：00～

会場：会議室

出席者

（市） 建設部長，建設管理監，監理課長，土木課長，都市計画課長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(4) 三次市

日時：令和元年7月25日（木） 13：30～

会場：会議室

出席者

（市） 副市長，財務部長，建設部長，財政課長，農政課長

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(5) 世羅町

日時：令和元年7月26日（金） 13：10～

会場：会議室

出席者

（町） 総務課長，財政課長 他

（協会） 会長，経営委員長，経営副委員長

(6) 江田島市

日時：令和元年7月29日（月） 13：30～

会場：会議室

出席者

（市） 副市長，総務部長，土木建築部長，
産業部長，財政課長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長



森脇会長から江田島市土手副市長へ要望書を手交

(7) 神石高原町

日 時：令和元年7月30日（火） 13：30～

会 場：会議室

出席者

（町） 総務課長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長

(8) 熊野町

日 時：令和元年8月1日（木） 13：30～

会 場：会議室

出席者

（町） 総務部長，建設部長，建設部技術担当部長，建設部次長，財務課長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(9) 竹原市

日 時：令和元年8月5日（月） 10：45～

会 場：会議室

出席者

（市） 副市長，建設部長，建設部参事，財務課長

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長

(10) 大崎上島町

日 時：令和元年8月5日（月） 13：40～

会 場：会議室

出席者

（町） 副町長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長，土肥理事

(11) 安芸太田町

日 時：令和元年12月23日（月） 10：00～

会 場：町長室

出席者

（町） 町長，総務課長，建設課長 他

（協会） 会長，経営委員長

(12) 北広島町

日 時：令和元年12月24日（火） 13：30～

会 場：会議室

出席者

（町） 財政課長，建設課長 他

（協会） 会長，副会長，経営委員長，経営副委員長



相生エンジニアリング株式会社

We create a tomorrow of people and nature.

弊社は1960年の創業以来建設コンサルタントとして、地元広島県を中心に多様な社会資本整備事業に携わってまいりました。昨今、地球温暖化に伴う気候変動等により高まる災害リスク、耐用年数を迎えつつある公共構造物の老朽化や維持更新など様々な課題が山積しており、社会資本整備の目的も変化してきています。私たちはこれらの課題に対応すべく、これまでに培ってきた経験と技術力を活かして社会に貢献するとともに、新しい技術を積極的に取り入れ、人材の育成、技術水準の維持・向上に取り組んでいます。

一方近年では、深刻な労働力不足を背景に長時間労働の解消、非正規と正社員の格差是正、高齢者の就労促進を柱とした企業の働き方改革が求められています。

このような状況を踏まえ、当社は2019年から「新たな成長」ステージへの移行を目指す中期経営計画をスタートさせ、将来にわたる成長ストーリーを描くこのタイミングで社名を変更し、新社名・新ブランドで更なる成長を目指すことにいたしました。

新社名には、「人も自然も活力あふれる地域づくりを目指す」という私たちが大切にしている技術者としての想いを“相生”と言う言葉に重ね合わせ、「事業主体である発注機関のご担当者様、社会資本のユーザーである地域の人々、先人たちが守ってきた豊かな自然、技術サービスを提供するかけがいのない社員をはじめ、様々なステークホルダーに信頼される良きパートナーとして、共に生き抜き、共に成長していく建設コンサルタントを目指そう」という想いを込めています。また、お互いに良い刺激を与え合い、共に成長できる技術者として技術サービスを生み出し続けたいとの想いも込めて『相生エンジニアリング株式会社』といたしました。

私たちは、これからも広島の建設コンサルタントとして持続的な成長を果たしていくとともに地域社会の維持・発展に尽力していく所存です。



令和最初の社員旅行（北海道2泊3日）

広島県（本庁）との意見交換会

- I 日時：令和元年10月24日（木） 14：55～
- II 会場：ひろしま国際ホテル 3階「サファイア」
- III 出席者
 （県庁） 建設企画部長，建設産業課長，建設産業課（参事，入札制度G，建設G）
 技術企画課長，技術企画課技術管理担当監，技術企画課（技術指導G），
 道路整備課（道路維持G）
 （協会） 会長，副会長，各委員長，経営副委員長，事務局長
- IV 議題
- 1 協会員の持続・発展について
 - (1) 事業量の確保
 - (2) 協会員の経営の安定・向上
 - 2 働き方改革の推進及び担い手確保・育成のための環境整備について
 - (1) 働き方改革の推進
 - (2) 担い手確保・育成
 - 3 その他
 - (1) 改正品確法の市町への周知・浸透
 - (2) 頻発する大規模災害への対応
 - (3) BIM/CIM等活用業務の取組

広島県（事務所長）との意見交換会

- I 日時：令和元年12月20日（金） 16：00～
- II 場所：ひろしま国際ホテル 3階「サファイア」
- III 出席者
 （県） 各事務所所長・支所長
 （協会） 会長，副会長，理事・監事，事務局長
- IV 課題
- 1 協会員の持続・発展について
 - (1) 事業量の確保
 - (2) 協会員の経営の安定・向上
 - 2 働き方改革の推進及び担い手確保・育成のための環境整備について
 - (1) 働き方改革の推進
 - (2) 担い手の確保・育成
 - 3 頻発する大規模災害への対応について

国（5事務所）との意見交換会

- I 日 時：令和元年11月28日（木） 16：30～
- II 会 場：ひろしま国際ホテル 3階「ルビー」
- III 出席者
 - （国） 国の5事務所（福山河川国道事務所・三次河川国道事務所・太田川河川事務所・広島国道事務所・広島西部山系砂防事務所）所長及び副所長，中国地方整備局企画部（技術管理課長，建設専門官）
 - （協会） 会長，副会長（2名），理事（4名），監事，事務局長
- IV 議 題
 - 1 協会員の持続・発展について
 - 2 働き方改革の推進及び担い手確保・育成のための環境整備について
 - 3 BIM/CIM 関連の情報の提供及び協会員の受注環境への配慮について
 - 4 その他（追加）
 - (1) 「業務チャレンジ型の試行」について
 - (2) 「交通誘導員の確保」について

全測連中国地区協議会災害時における相互応援に関する協定

全測連中国地区協議会（以下「中国地区協」という。）を構成する各県測量設計業協会（以下「県測協」という。）は、災害時における相互応援に関して、次のとおり協定を締結する。

（趣旨）

第1条 この協定は、中国地区において発生した地震、異常気象等による災害で被災した地域の復旧業務を円滑かつ速やかに行うため、中国地区協の県測協は連携して取り組むこととし、災害対応業務に係る応援（以下「災害応援」という。）に関して必要な事項を定める。

（応援の要請）

第2条 災害応援を必要とする県測協の会長は、中国地区協の会長に対して応援を要請することができる。

（災害応援の内容）

第3条 災害応援は、次の災害対応業務とする。

- (1) 被災状況調査
- (2) 応急対策及び災害復旧のための測量設計
- (3) 前2号に掲げるもののほか必要な応急業務

（要請の方法）

第4条 前条の要請は、口頭、電話、FAX、メール等、迅速かつ適切に伝達できる方法で行うものとし、速やかに文書を中国地区協の会長に提出する。

（要請に必要な事項）

第5条 要請にあたっては、次の各号に掲げる事項をできる限り明らかにする。

- (1) 被災の概要
- (2) 応援の内容
- (3) 応援の場所
- (4) 応援の期間
- (5) 応援の条件
- (6) 前各号に掲げるもののほか必要な事項

（連携の方法）

第6条 災害応援の要請を受けた中国地区協の会長は、直ちに会長・副会長会議を招集し、要請した会長以外の県測協の会長に対して災害応援を要請する。

2 要請を受けた県測協の会長は、直ちに協会員に対して、災害応援を要請する。

（全測連への要請）

第7条 中国地区協の会長は、中国地区協での災害応援が困難と判断した場合は、(一社)全国測量設計業協会連合会に対して災害応援を要請する。

(職務の代行)

第8条 中国地区協の会長に連絡調整等の困難あるときは、会長が予め指名する中国地区協の副会長が、この協定における中国地区協の会長の職務を代行する。

(その他)

第9条 この協定に定めるもののほか、この協定の実施について必要な事項は、会長・副会長会議でこれを定める。

2 県測協の会長は、この協定の適切かつ円滑な運用を図るため、平常時から県測協の会員に対して、本協定の周知に努めるものとする。

この協定の締結を証するため、本書6通を作成し、中国地区協の会長及び県測協の会長が記名押印の上、各自その1通を保有する。

令和元年5月9日

鳥取市本町3-201

一般社団法人 全国測量設計業協会連合会中国地区協議会

会長 大野木 昭夫



鳥取市本町3-201

一般社団法人 鳥取県測量設計業協会

会長 大野木 昭夫



松江市北陵町41

一般社団法人 島根県測量設計業協会

会長 和田 晶夫



岡山市北区内山下2-8-15

一般社団法人 岡山県測量設計業協会

会長 松原 利直



広島市中区上八丁堀8-23

一般社団法人 広島県測量設計業協会

会長 森脇 克彦



山口市神田町5-11

一般社団法人 山口県測量設計業協会

会長 伊藤 輝泰



(一社) 広島県測量設計業協会 正会員名簿

顧問 平口 洋
顧問 狭戸尾 浩

会長 森脇 克彦
副会長 脇原 彦志
副会長 佐々木 仁志

(50音順)

会社名	代表者	郵便番号	所在地
(株)アース開発コンサルタント	飯川 松 義	737-0161	呉市郷原町7140番地の1
相生エンジニアリング(株)	森脇 克彦	733-0025	広島市西区小河内町二丁目21番9号
(株)安芸建設コンサルタント	入江 久夫	736-0082	広島市安芸区船越南四丁目3番25号
(株)荒谷建設コンサルタント	荒谷 悦嗣	730-0833	広島市中区江波本町4番22号
(株)イズタコンサルタント	泉田 義博	723-0051	三原市宮浦三丁目34番10号
ウムヴェルト(株)	平賀 勝秀	737-0004	呉市阿賀南八丁目1番7号
(株)エイチテック	岡田 宏	720-0822	福山市川口町一丁目16番35号
(株)エイト日本技術開発広島支店	馬場 浩	732-0055	広島市東区東蟹屋町15番3号
ケイ・エム調査設計(株)	三宅 啓文	733-0006	広島市西区三篠北町16番12号
(株)新東コンサルタント	岩本 猛	733-0002	広島市西区楠木町三丁目15番11号
(株)セトウチ	土肥 真也	725-0004	竹原市東野町158番地の3
(株)瀬戸内開発コンサルタント	飯田 昇	733-0007	広島市西区大宮二丁目2番2号
総合技研(株)	久保 正裕	737-0842	呉市吉浦東町12番17号
(株)タマルコンサルタント	田丸 隆教	728-0016	三次市四拾貫町338-1
ダイホーコンサルタント(株)	法堂 一成	721-0961	福山市明神町一丁目5番38号
(株)第一総合エンジニア	藤井 利彦	731-0102	広島市安佐南区川内二丁目3番53-7号
(株)知久設計	高杉 鶴雄	721-0903	福山市坪生町225番地1
中国開発調査(株)	寺田 博行	733-0822	広島市西区庚午中二丁目13番24号
中国工務(株)	山田 雅昭	731-0101	広島市安佐南区八木八丁目21番28号
中国施設設計(株)	安田 秀樹	732-0056	広島市東区上大須賀町1番1号
中電技術コンサルタント(株)	坪井 俊郎	734-8510	広島市南区出沙二丁目3番30号
(株)ニュー技術	高橋 茂樹	731-5155	広島市佐伯区城山一丁目1番3号
(株)日航コンサルタント	愛須 友行	739-0025	東広島市西条中央一丁目17番9号
NEXCO西日本コンサルタンツ(株)	福永 靖雄	732-0057	広島市東区二葉の里三丁目5番7号
(株)ヒロコン	下花 真二	734-0011	広島市南区宇品海岸三丁目13番28号
(株)日野原富士コンサルタント	日野原 浄弘	731-0153	広島市安佐南区安東一丁目6番9号
広建コンサルタンツ(株)	元 廣和弘	720-0822	福山市川口町一丁目7番3号
(株)広測コンサルタント	瀬尾 公宏	739-0042	東広島市西条町西条東809番地の1
復建調査設計(株)	小田 秀樹	732-0052	広島市東区光町二丁目10番11号
ミネオカ測量設計(株)	峯岡 静彦	722-0051	尾道市東尾道10番地20
明伸建設コンサルタント(株)	福原 真爾	733-0033	広島市西区観音本町一丁目6番1号
(株)LAT環境クリエイト	青木 成夫	733-0821	広島市西区庚午北二丁目1番4号
(株)ランドコンサルタント	木原 千里	739-0025	東広島市西条中央五丁目23番12号
(株)陸地コンサルタント	佐々木 仁志	739-0005	東広島市西条大坪町8番27号
ルーチェサーチ(株)	渡邊 豊	731-0152	広島市安佐南区毘沙門台4-16-21

令和2年1月1日現在 35社

(一社) 広島県測量設計業協会 賛助会員名簿

(50 音順)

会 社 名	代 表 者	郵便番号	所 在 地
アイサンテクノロジー(株)	加藤 淳	460-0003	名古屋市中区錦 3-7-14 ATビル
(株)アライズソリューション	荒谷 悦嗣	730-0833	広島市中区江波本町 4-22
(株)イズコン	福田 康伴	693-0011	出雲市大津町 1778-1
(株)エフ・ケー・シー	鈴山 成人	732-0052	広島市東区光町 2-11-31
岡三リビング(株)中国支店	三橋 範勸	730-0021	広島市中区胡町 4-21 朝日生命広島胡町ビル
(株)山陽測器	桐木 博之	733-0821	広島市西区庚午北 1-20-9
(株)ジツタ中国	實田 泰之	730-0043	広島市中区富士見町 16-2
(株)中建日報社	角井 一隆	730-0805	広島市中区十日市町 2-1-8 中建ビル
(株)トリンプルパートナーズ中国	窪田 義則	735-0004	安芸郡府中町山田 2-4-1 サンシルクⅡ
(株)日刊建設工業新聞社	高田 智	730-0016	広島市中区幟町 3-56
西尾レントオール(株)中国支店	橋本 宏治	731-3168	広島市安佐南区伴南 1-2-1
福井コンピュータ(株)中四国営業所	林 俊英	732-0816	広島市南区比治山本町 16-35 広島産業文化センター11階
富士ゼロックス広島(株)	加藤 喜之	732-0827	広島市南区稲荷町 2-16
前田工織(株)広島支店	栗原 祐治	732-0825	広島市南区金屋町 3-13 タミヤビル3階
(株)マシノ	増野 裕人	733-0822	広島市西区庚午中 1-19-23
丸栄コンクリート工業(株)広島支店	山神 一文	730-0013	広島市中区八丁堀 14-4
ランダス(株)中国西支店	中村 稔	731-0102	広島市安佐南区川内 5-16-12

令和 2 年 1 月 1 日現在 17 社



事務局だより

会員の皆様には、お健やかに新しい年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

去年は、平成30年7月西日本豪雨災害の引き続く災害査定の最中で新年を迎えましたが、皆様の御尽力により2月1日には第20次査定を終了することができました。

5月1日には、元号が「令和」となり新たな時代の幕開けとなりました。協会では、新たな時代に呼応して「青年部会」が設立され、担い確保対策や後継者問題等の喫緊の課題に積極的に取り組まれ、事務局といたしましても大変感謝いたしております。

令和元年秋の叙勲では、荒谷壽一相談役が「旭日双光章」を受賞され、協会はもとより業界にとりましても、この上ない喜びとなりました。

本年が、会員の皆様にとりまして、健康で幸多い年となりますことを祈念いたしますとともに、協会の運営・各種事業に更なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



編集後記

新年明けましておめでとう御座います。

おかげ様で、令和1号の広報誌『年輪』を発刊することが出来ました。

元号が令和となり、新たな時代の幕開けと共に、我々の業界におきましてもi-Constructionや働き方改革など、大きな時代の過渡期を迎えております。

新元号の意味するごとく、新たな時代に大きく花を咲かせるよう、総務広報委員会一同精励する所存で御座います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後に、広報誌作成にあたり本号の原稿を執筆して頂いた皆様に、心より感謝、御礼申し上げます。

総務広報副委員長 土肥 広 大